岡山大学の教育方法・内容等についての卒業生による評価

令和４年度卒業予定者アンケート結果

令和５年６月

目　次

１　　調査の趣旨　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3P
２　　調査の実態　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3P
３　　調査結果
３－１教育目標の達成度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5P
３－２教育目標の達成度－経年比較－　・・・・・・・・・・・・6P
３－３それぞれの教育目標達成に寄与した授業科目・諸活動等 11P
①「幅広い分野にわたる教養」
②「専門的な知識・技能・態度」
③「物事を論理的に考える力」
④「情報を収集・分析し効果的に活用する力」
⑤「主体的行動力・コミュニケーション能力・リーダーシップ」
⑥「国際感覚・外国語能力」
⑦「生涯に亘り自己成長を追求する姿勢」
３－４大学の個々の領域についての満足度　・・・・・・・・・・19P
３－５大学の個々の領域についての満足度－経年比較－　・・・20P
３－６大学教育全般についての満足度－経年比較－　・・・・・30P
４　　まとめと提言　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31P

１調査の趣旨

本学では，自主的・自律的な質保証への取り組みの一環として，継続的かつ多角的に教育成果の把握を行っている。データ収集はその基礎となるものであり，教育に関する全学的な調査として，新入生アンケート，入試成績と入学後の成績の追跡調査，学生による授業評価，就職先等に対するアンケート，学修行動調査等を実施している。

卒業予定者に対するアンケート調査はその一環であり，卒業予定者を対象に，卒業直前までの全体的な教育成果について調査するものである。本調査は平成 16 年度から毎年度実施しており，調査項目を状況に応じて修正してきたが，基本的な調査項目は一貫しているため，単年度の状況だけでなく，経年変化も把握できる調査となっている。

本年度も，質保証及び教育改善に資する基礎的データを提供するために，卒業予定者に対するアンケート調査を実施し，その分析を行った。

２調査の実態

【調査対象】

令和 4 年度 (令和 5 年 3 月卒業)における全学部の卒業予定者を対象にアンケート調査を実施した。併せて，過去の調査に同一の質問項目が存在する場合は，最大過去 5 年分のデータを用いて，経年変化についても分析を行った。

【調査の内容】

教育目標の達成度

「幅広い教養」「専門的知識等」「論理的思考力」など，10 種の教育目標の達成度を「十分獲得した」から「獲得していない」まで 5 段階の回答を求めた。

教育目標の達成に寄与した授業活動・諸活動

教育目標の達成のための授業活動・諸活動の寄与を調べるために，教育目標の中の「幅広い教養」「専門的知識等」「リーダーシップ」などに関して，「教養教育科目 (主題)」「専門教育科目 (講義)」「サークル活動」など 10 種の活動の寄与の大きさを「大きい」から「小さい」までの 5 段階，及び「行っていない」の中から回答を求めた。

大学の個々の領域（教育方法・内容等）についての満足度

「大学教育全般についての満足度」を「非常に満足している」から「非常に不満足である」までの 7 段階で，「教養教育科目 (外国語科目以外)」「専門教育科目 (講義)」「図書館図書・雑誌の充実度」「パソコン等の充実度」などの項目を「良かった」から「悪かった」までの 5 段階で回答を求めた。

【調査方法】

平成 30 年度までは調査紙による調査であったが，令和元年度より moodle によるオンライン調査へ変更している。令和 4 年度の回答期間は令和 4 年 12 月 9 日から令和 5 年 3 月 31 日までとした。

【回収数・回収率】

直近 3 年間の回収数・回収率は以下のとおりであった。令和 2 年度に 70.3%であった回収率が令和 3 年度には 55.3%まで下がった。令和 4 年度はやや回復し，59.5%となった。

直近 3 年間の回答数および回収率

※青のハイライトは回収率 50%以下

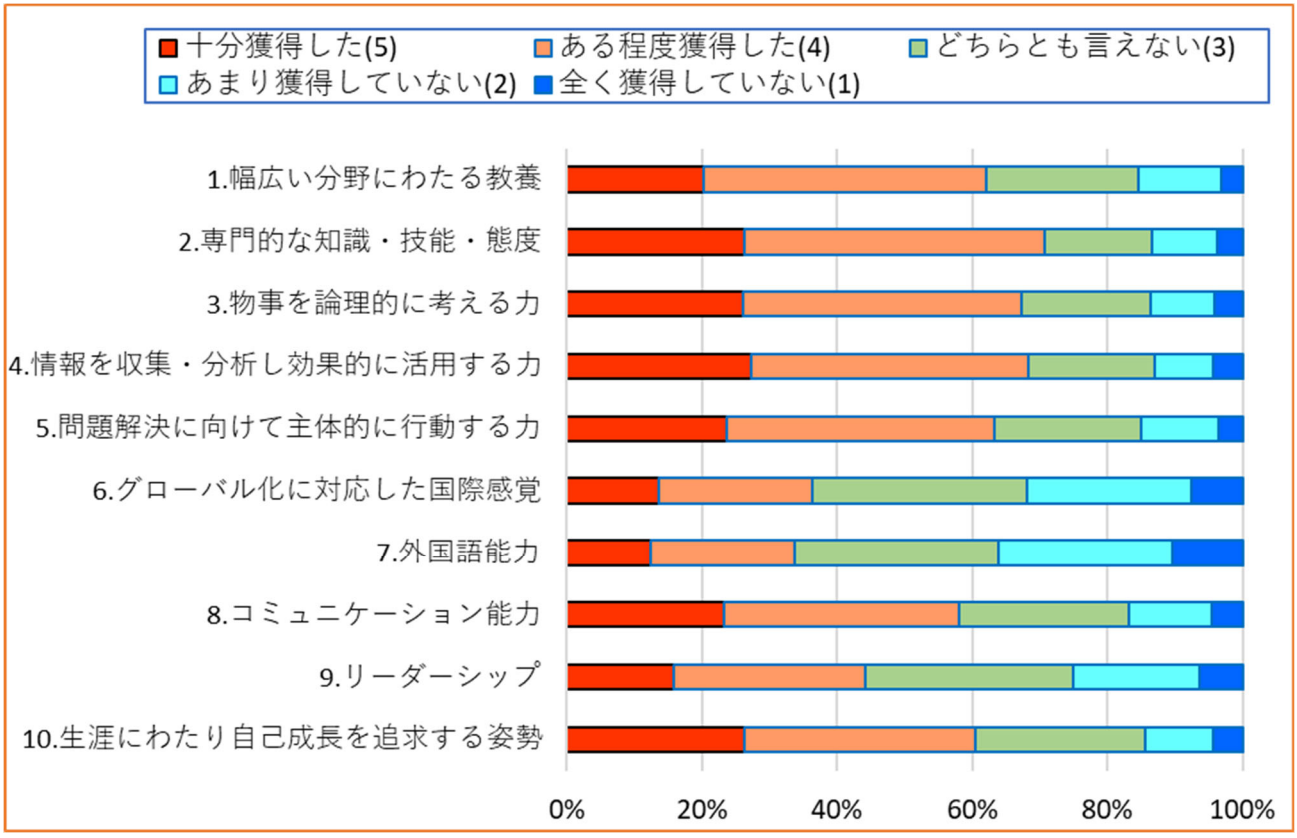
学部		R2		R3		R4		
		回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率	対象者数
全学部		1568	70.3%	1325	55.3%	1384	59.5%	2,328
文学部	人文学科	153	88.4%	134	79.8%	120	77.4%	155
教育学部	学校教育教員養成課程	113	39.5%	99	38.4%	79	32.4%	244
	養護教諭養成課程			11	37.9%	3	10.7%	28
法学部	法学科	171	86.4%	128	56.1%	172	80.0%	215
	法学科(夜間主コース)	11	78.6%	9	29.0%	13	44.8%	29
経済学部	経済学科	169	84.9%	124	50.8%	133	59.1%	225
	経済学科(夜間主コース)	34	91.9%	22	40.0%	24	48.0%	50
理学部	数学科	91	61.1%	13	54.2%	18	69.2%	26
	物理学科			11	29.7%	19	48.7%	39
	化学科			11	26.8%	15	41.7%	36
	生物学科			10	32.3%	22	53.7%	41
	地球科学科			15	60.0%	19	70.4%	27
医学部医学科	医学科	65	59.1%	23	18.5%	8	6.3%	127
	保健学科	118	76.1%	73	46.2%	128	84.2%	152
歯学部	歯学科	26	48.1%	18	34.0%	41	74.5%	55
薬学部薬学科	薬学科	8	18.2%	36	87.8%	34	91.9%	37
	創薬科学科	12	34.3%	37	84.1%	31	88.6%	35
工学部	機械システム系学科	393	80.0%	125	74.0%	131	75.7%	173
	電気通信系学科			66	57.4%	55	47.0%	117
	情報系学科			53	89.8%	46	74.2%	62
	化学生命系学科			88	62.0%	86	54.8%	157
環境理工学部	環境数理学科	92	64.3%	7	29.2%	10	50.0%	20
	環境デザイン工学科			33	62.3%	25	52.1%	48
	環境管理工学科			37	86.0%	16	39.0%	41
	環境物質工学科			32	69.6%	25	61.0%	41
農学部	総合農業科学科	101	82.1%	96	77.4%	89	75.4%	118
MP/GDP	MP/GDP	11	61.1%	14	46.7%	22	73.3%	30

３調査結果

３－１　教育目標の達成度　n=1384

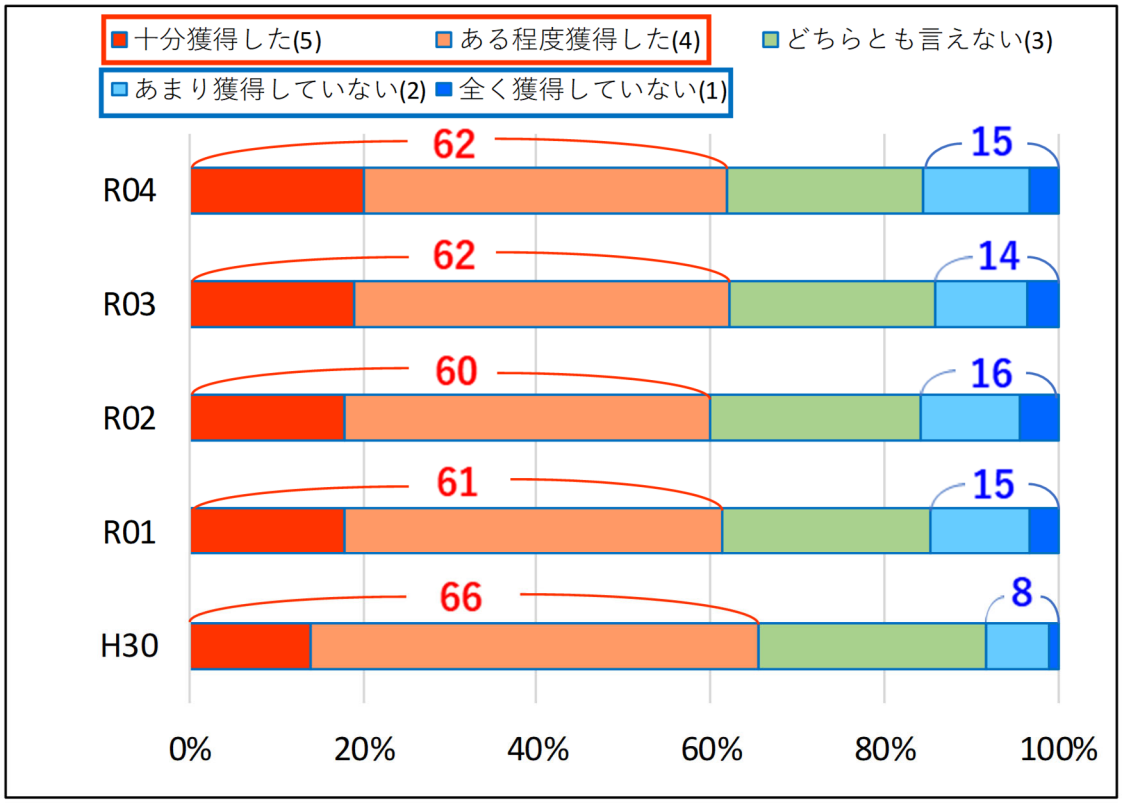
「教育目標の達成度」に対する集計結果を以下に示す。「十分獲得した」と「ある程度獲得した」の合計に着目すると，多くの項目が 60%以上を獲得しているが，「6.グローバル化に対応した国際感覚」「7.外国語能力」「9.リーダーシップ」の達成度が 50%以下となっており，これらの資質・能力を高めることが課題といえる。

	十分獲得した(5)	ある程度獲得した(4)	どちらとも言えない(3)	あまり獲得していない(2)	全く獲得していない(1)	平均
1. 幅広い分野にわたる教養	20.23	41.84	22.54	12.21	3.18	3.64
2. 専門的な知識・技能・態度	26.30	44.36	15.97	9.68	3.68	3.80
3. 物事を論理的に考える力	26.01	41.33	19.15	9.32	4.19	3.76
4. 情報を収集・分析し効果的に活用する力	27.17	41.18	18.71	8.53	4.41	3.78
5. 問題解決に向けて主体的に行動する力	23.70	39.52	21.82	11.34	3.61	3.68
6. グローバル化に対応した国際感覚	13.66	22.69	31.72	24.42	7.51	3.11
7. 外国語能力	12.28	21.46	30.06	25.79	10.40	2.99
8. コミュニケーション能力	23.19	34.90	25.00	12.43	4.48	3.60
9. リーダーシップ	15.75	28.47	30.78	18.64	6.36	3.29
10. 生涯にわたり自己成長を追求する姿勢	26.23	34.32	25.14	9.97	4.34	3.68

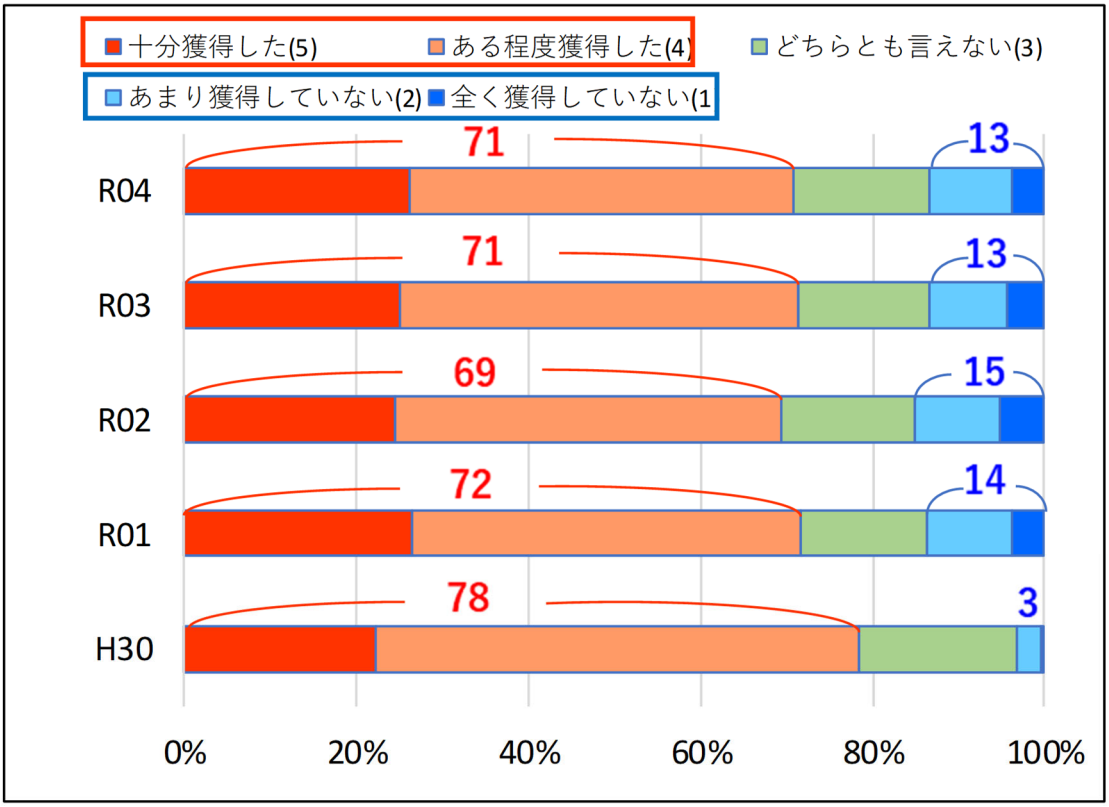


３－２　教育目標の達成度－経年比較―

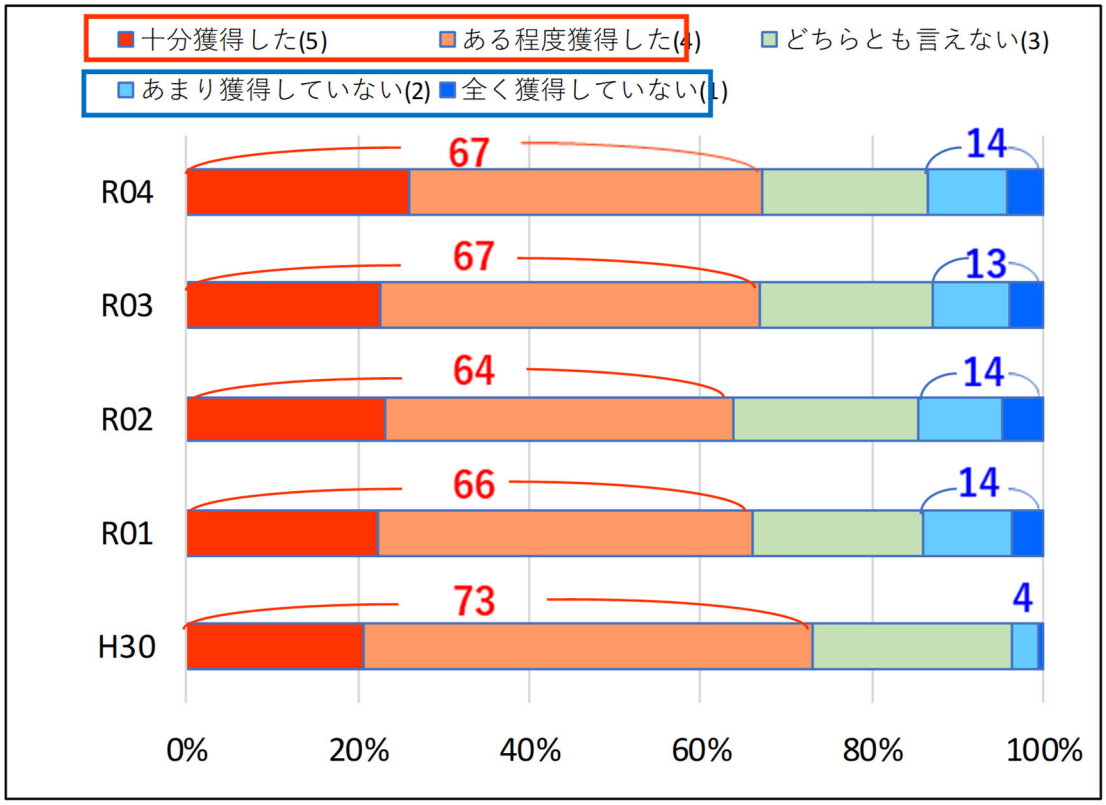
1.幅広い教養



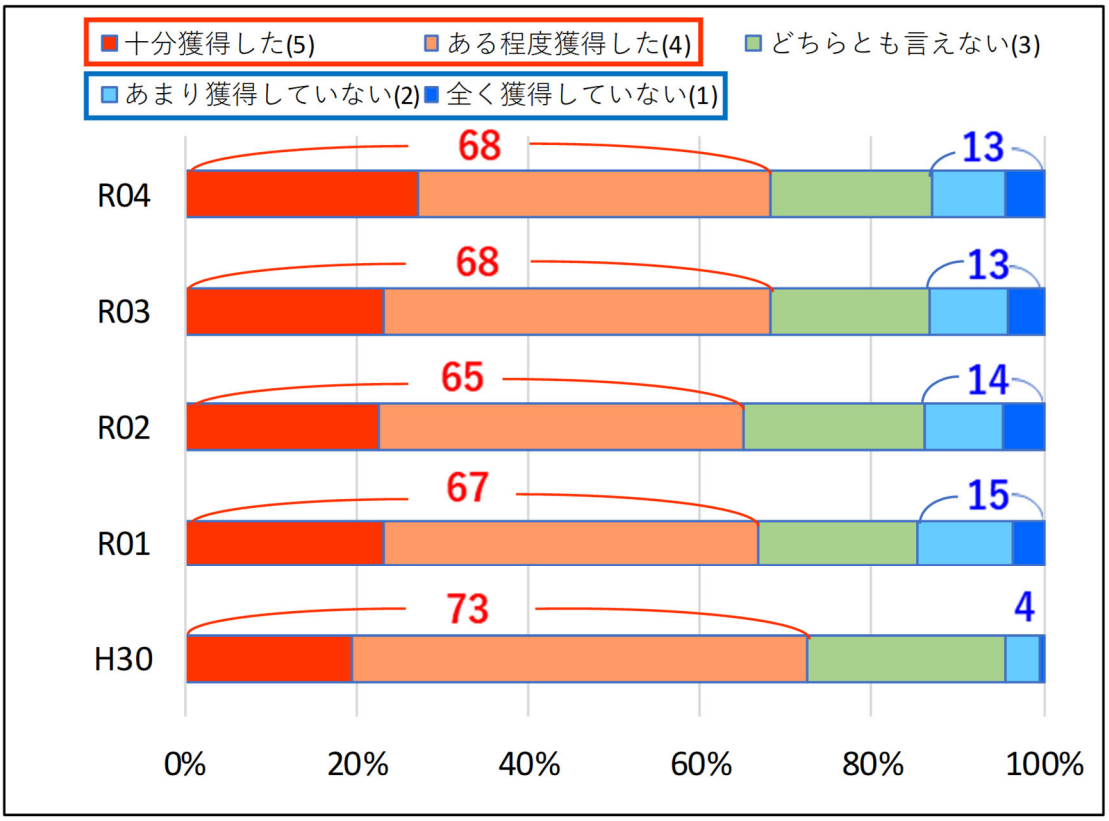
2.専門的な知識技能態度



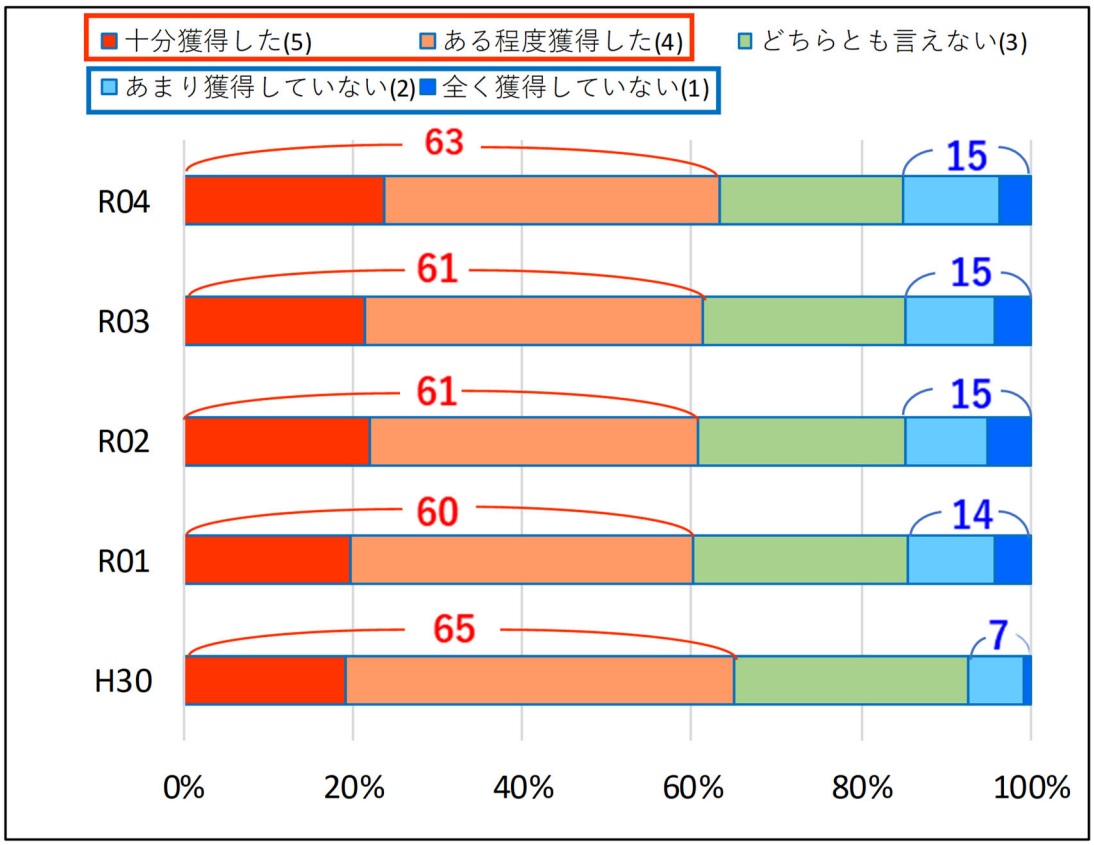
3.論理的に考える力



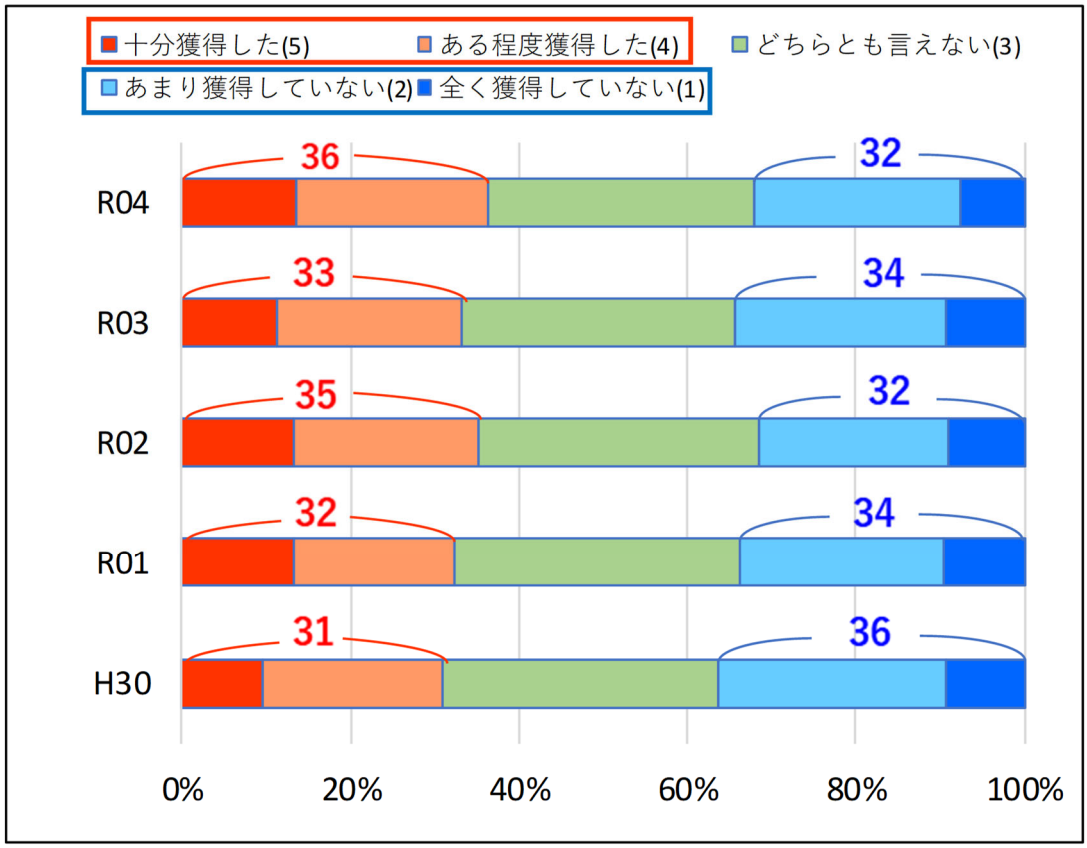
4.情報活用力



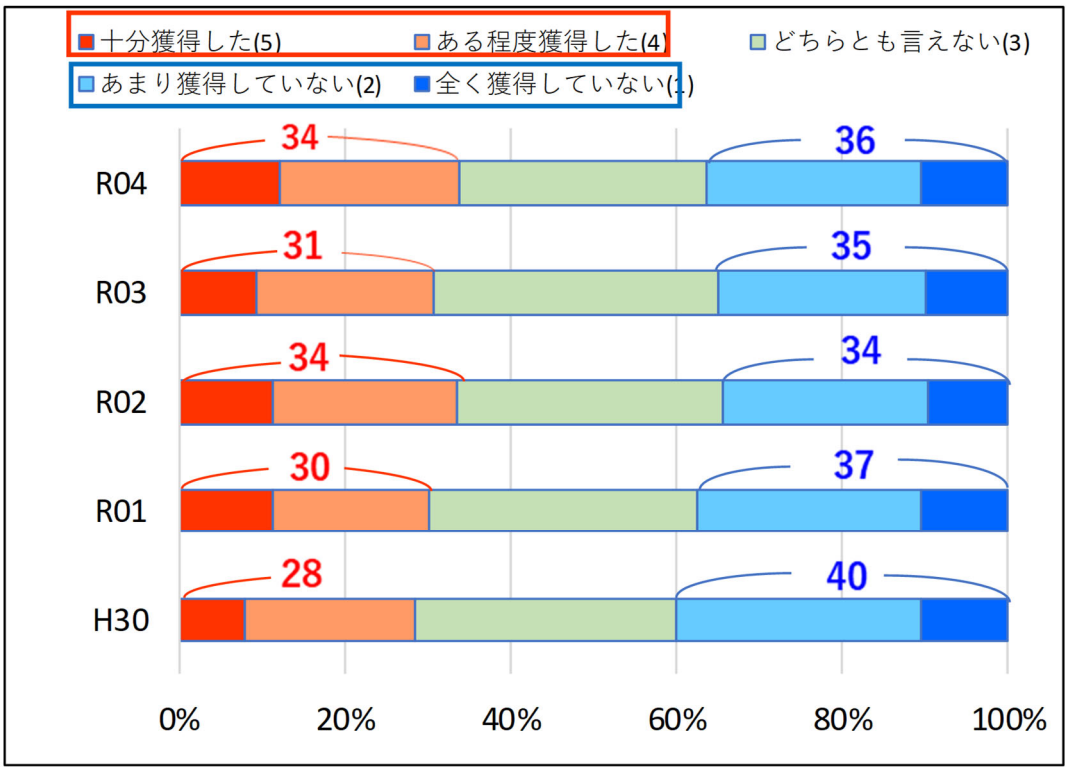
5.主体的に行動する力



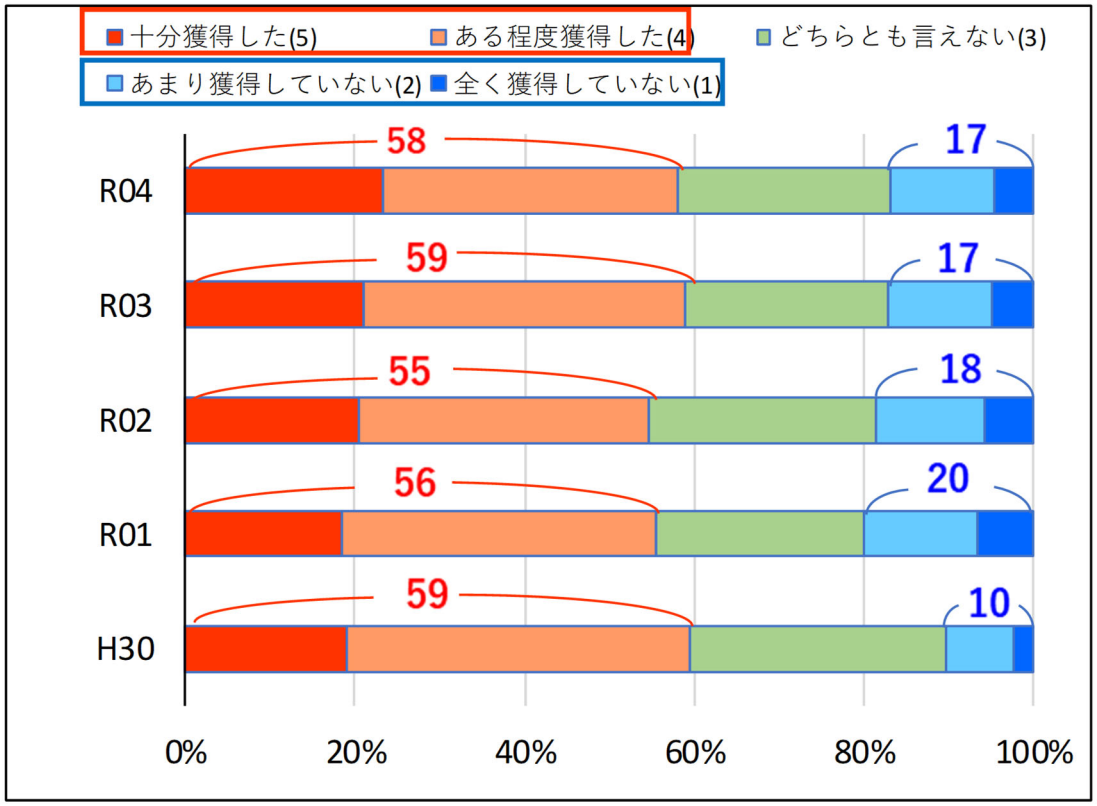
6.グローバル化に対応した国際感覚



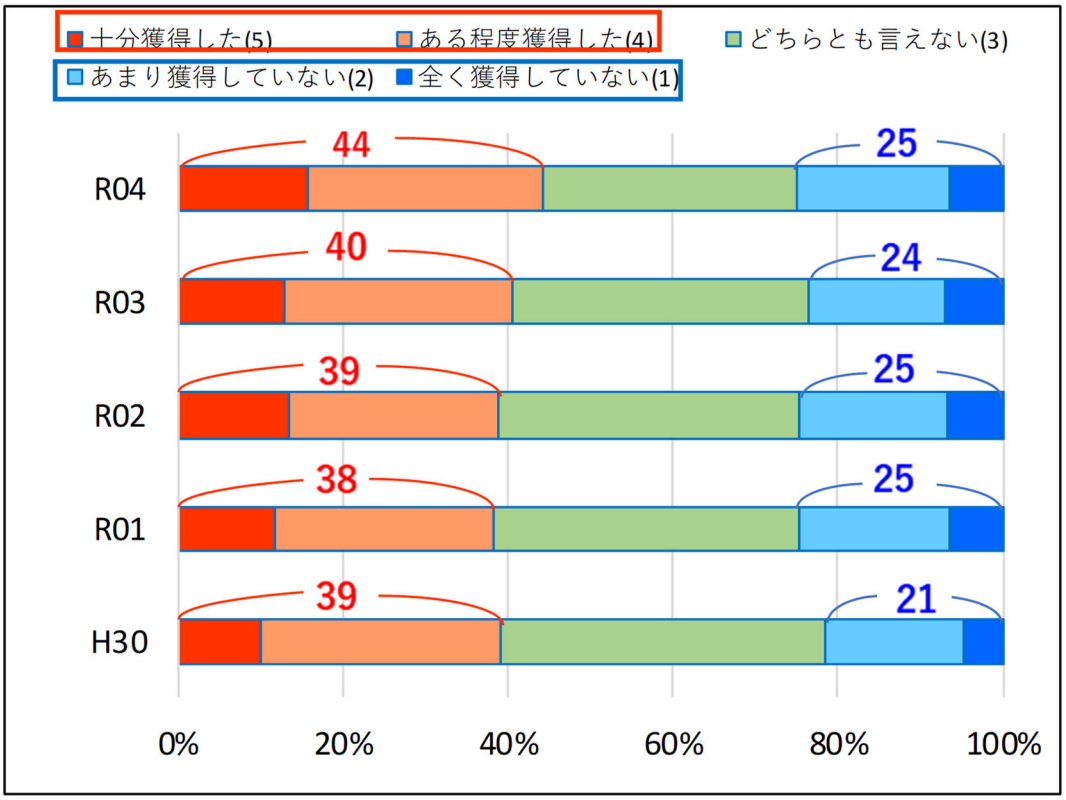
7.外国語能力



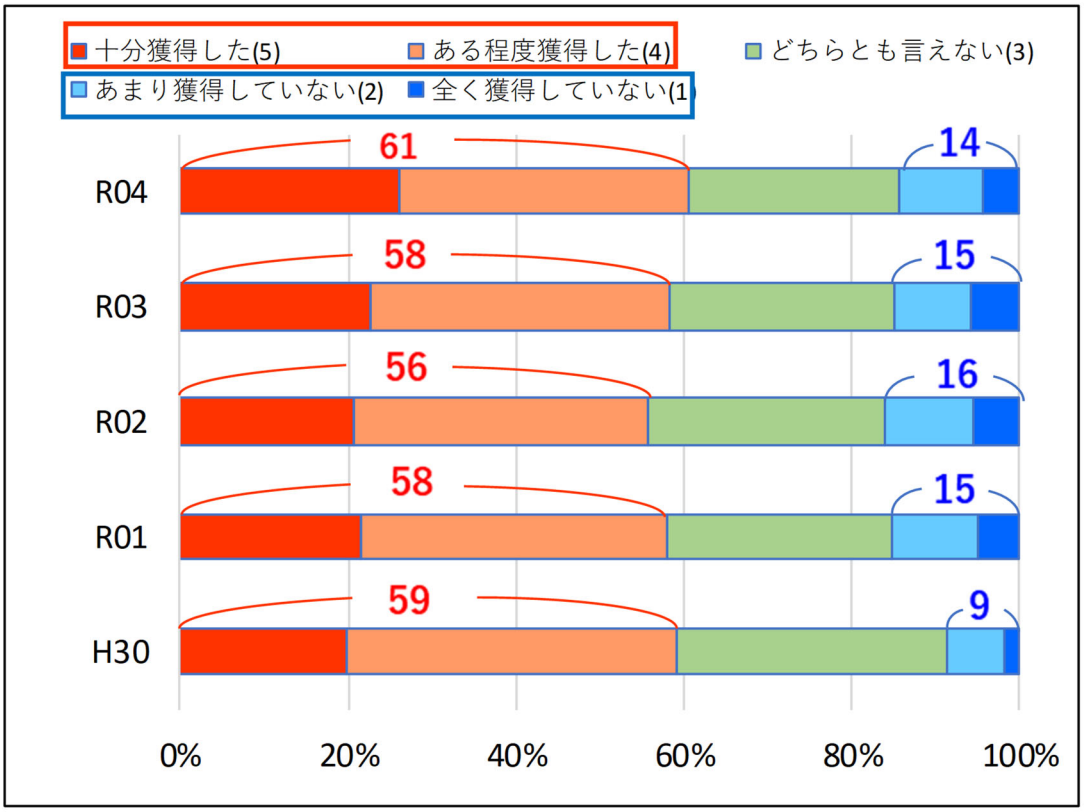
8.コミュニケーション能力



9.リーダーシップ



10.生涯にわたり自己成長を追求する姿勢



３－３　教育目標の達成に関する貢献度

「幅広い分野にわたる教養」などの獲得（教育目標の達成）に対して，授業科目・諸活動がどの程度貢献したかを「大きい」から「小さい」の 5 段階と「当てはまらない（行っていない）」で卒業生が評価した結果を，教育目標ごとにまとめた。

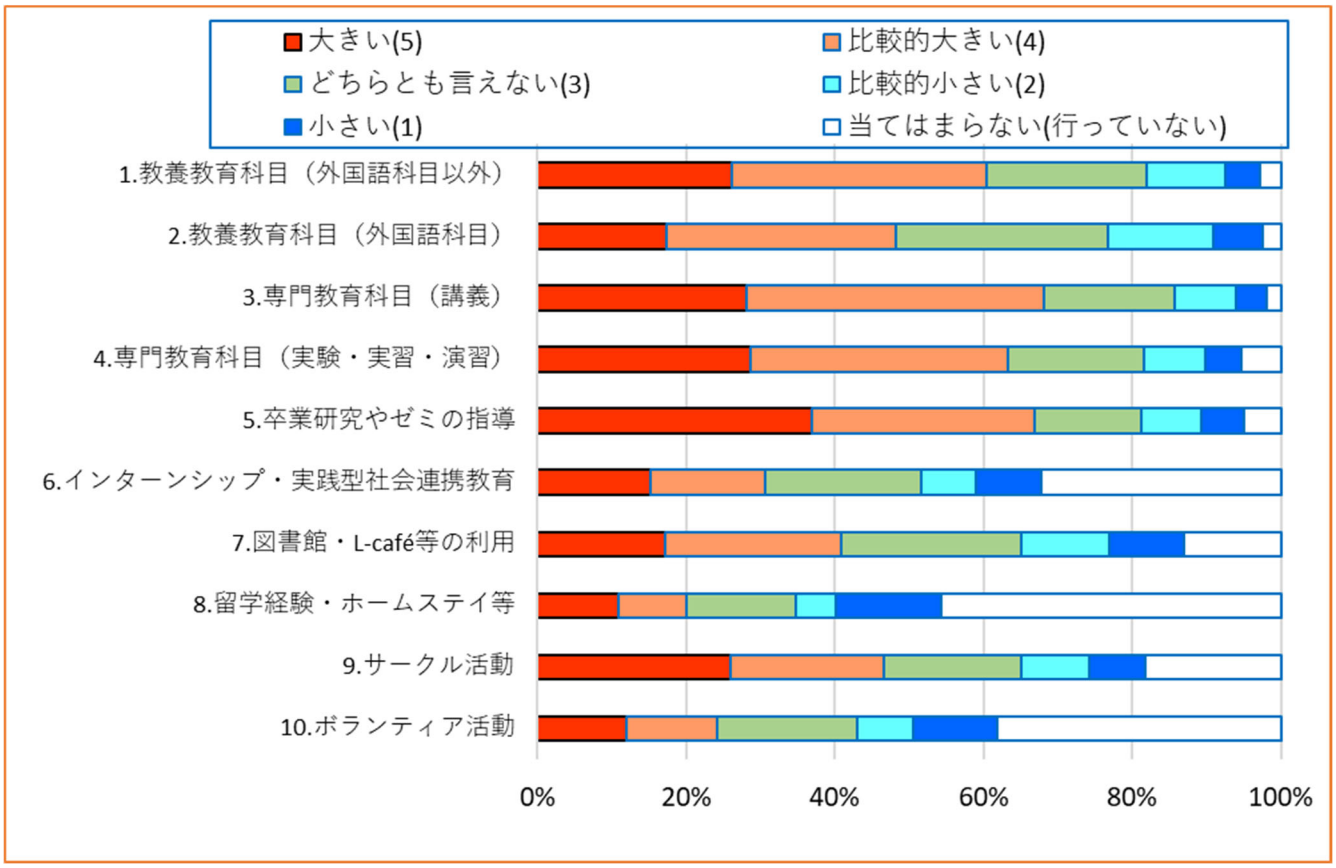
ほとんどの項目において「5.卒業研究やゼミの指導」が最も貢献度の大きな回答となっており，大学の教育目標達成に対して最も大きな影響を与えている項目であると考えられる。

一方、「6.インターンシップ・実践型社会連携教育」「8.留学経験・ホームステイ等」「10.ボランティア活動」はほとんどの科目において貢献度が小さかった。ただし，「比較的小さい」「小さい」が特別多いわけではなく，「当てはまらない（行っていない）」の回答割合が非常に大きかったためである。

①「幅広い分野にわたる教養」の獲得への貢献度　n=1384

「幅広い分野にわたる教養」への貢献度として，「大きい」と「比較的大きい」の合計が60%以上となった項目は，「1.専門教育科目(講義)」「3.専門教育科目(講義)」，「4.専門教育科目(実験・実習・演習)」，「5.卒業研究やゼミの指導」であった。また，教養教育科目よりも専門教育科目の方が貢献度が大きいという結果となった。

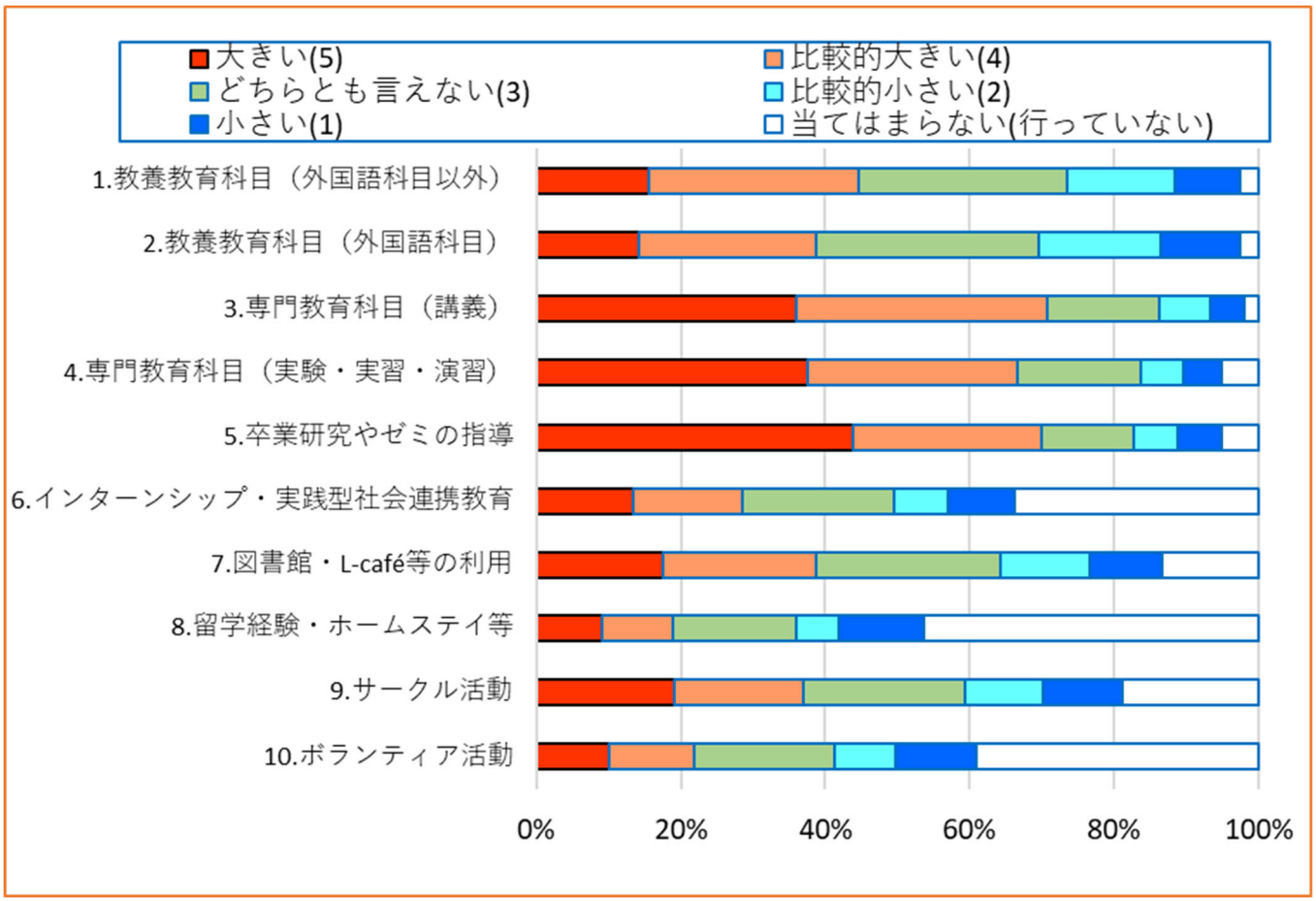
	大きい(5)	比較的大きい(4)	どちらとも言えない(3)	比較的小さい(2)	小さい(1)	当てはまらない(行っていない)	平均
1. 教養教育科目（外国語科目以外）	26.23	34.10	21.60	10.55	4.62	2.89	3.69
2. 教養教育科目（外国語科目）	17.34	30.85	28.61	14.16	6.50	2.53	3.39
3. 専門教育科目（講義）	28.18	39.88	17.70	8.16	4.12	1.95	3.81
4. 専門教育科目（実験・実習・演習）	28.76	34.54	18.35	8.09	4.91	5.35	3.78
5. 卒業研究やゼミの指導	36.85	29.99	14.31	8.09	5.71	5.06	3.89
6. インターンシップ・実践型社会連携教育	15.17	15.39	21.03	7.44	8.82	32.15	3.30
7. 図書館・L-café等の利用	17.27	23.63	24.21	11.85	10.04	13.01	3.30
8. 留学経験・ホームステイ等	10.84	9.18	14.74	5.42	14.23	45.59	2.94
9. サークル活動	25.94	20.74	18.42	9.18	7.44	18.28	3.59
10. ボランティア活動	11.92	12.36	18.79	7.44	11.34	38.15	3.10



②「専門的な知識・技能・態度」の獲得への貢献度　n=1384

「専門的な知識・技能・態度」への貢献度として，「大きい」と「比較的大きい」の合計が60%以上となった項目は，「3.専門教育科目(講義)」，「4.専門教育科目(実験・実習・演習)」，「5.卒業研究やゼミの指導」であった。

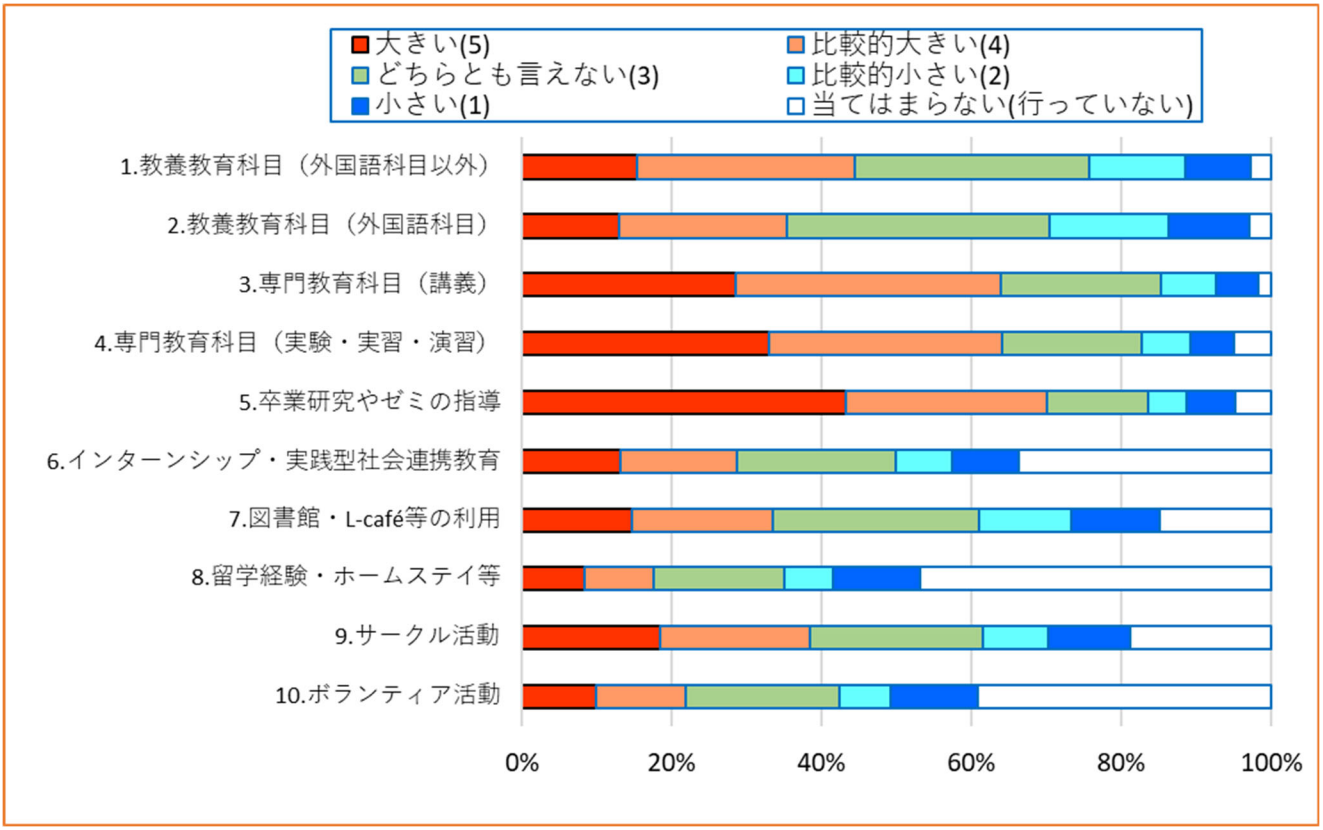
	大きい(5)	比較的大きい(4)	どちらとも言えない(3)	比較的小さい(2)	小さい(1)	当てはまらない(行っていない)	平均
1. 教養教育科目（外国語科目以外）	15.53	29.05	28.97	14.81	9.10	2.53	3.28
2. 教養教育科目（外国語科目）	14.16	24.49	30.85	16.98	10.91	2.60	3.14
3. 専門教育科目（講義）	36.05	34.61	15.68	6.94	4.77	1.95	3.92
4. 専門教育科目（実験・実習・演習）	37.50	29.12	17.05	5.85	5.42	5.06	3.92
5. 卒業研究やゼミの指導	43.79	26.16	12.79	6.07	6.14	5.06	4.00
6. インターンシップ・実践型社会連携教育	13.37	15.17	20.95	7.59	9.18	33.74	3.24
7. 図書館・L-café等の利用	17.49	21.32	25.51	12.28	10.12	13.29	3.27
8. 留学経験・ホームステイ等	9.18	9.75	16.98	6.00	11.78	46.32	2.97
9. サークル活動	19.08	17.85	22.47	10.69	10.98	18.93	3.29
10. ボランティア活動	10.12	11.78	19.44	8.45	11.05	39.16	3.02



③「物事を論理的に考える力」の獲得への貢献度　n=1384

「物事を論理的に考える力」への貢献度として，「大きい」と「比較的大きい」の合計が60%以上となった項目は，「3.専門教育科目(講義)」，「4.専門教育科目(実験・実習・演習)」，「5.卒業研究やゼミの指導」であった。また，本項目の回答結果は④「情報を収集・分析し効果的に活用する力」の獲得への貢献度と酷似していた。

	大きい(5)	比較的大きい(4)	どちらとも言えない(3)	比較的小さい(2)	小さい(1)	当てはまらない(行っていない)	平均
1. 教養教育科目（外国語科目以外）	15.39	29.05	31.36	12.72	8.74	2.75	3.30
2. 教養教育科目（外国語科目）	13.08	22.25	35.04	15.97	10.77	2.89	3.11
3. 専門教育科目（講義）	28.61	35.33	21.39	7.30	5.64	1.73	3.75
4. 専門教育科目（実験・実習・演習）	32.95	31.14	18.64	6.58	5.71	4.99	3.83
5. 卒業研究やゼミの指導	43.28	26.81	13.44	5.20	6.50	4.77	4.00
6. インターンシップ・実践型社会連携教育	13.22	15.46	21.17	7.59	8.82	33.74	3.25
7. 図書館・L-café等の利用	14.67	18.86	27.46	12.36	11.78	14.88	3.14
8. 留学経験・ホームステイ等	8.45	9.10	17.49	6.43	11.63	46.89	2.93
9. サークル活動	18.50	19.94	23.05	8.82	10.84	18.86	3.33
10. ボランティア活動	9.90	12.07	20.38	6.94	11.56	39.16	3.03

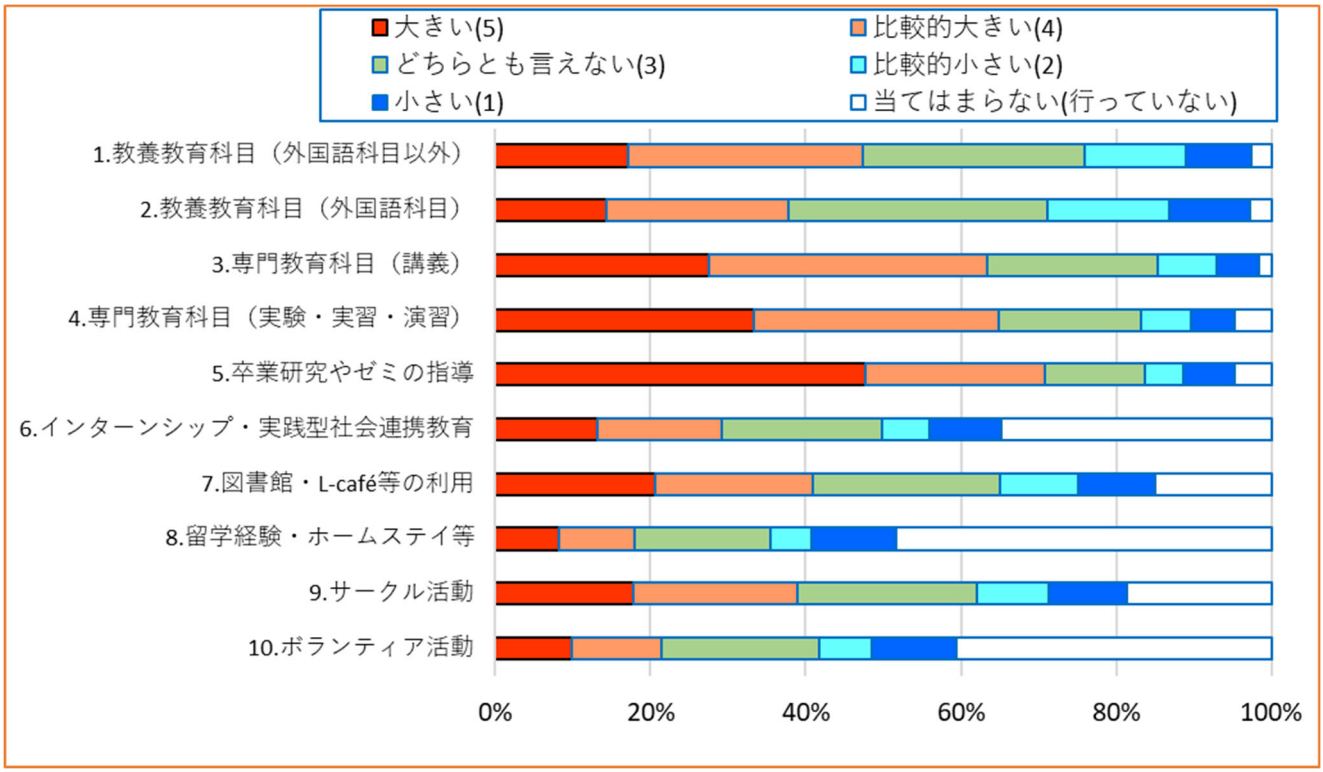


④「情報を収集・分析し効果的に活用する力」の獲得への貢献度

n=1384

「情報を収集・分析し効果的に活用する力」への貢献度として，「大きい」と「比較的大きい」の合計が 60%以上となった項目は，「3.専門教育科目(講義)」，「4.専門教育科目(実験・実習・演習)」，「5.卒業研究やゼミの指導」であった。また，本項目の回答結果は③「物事を論理的に考える力」の獲得への貢献度と酷似していた。

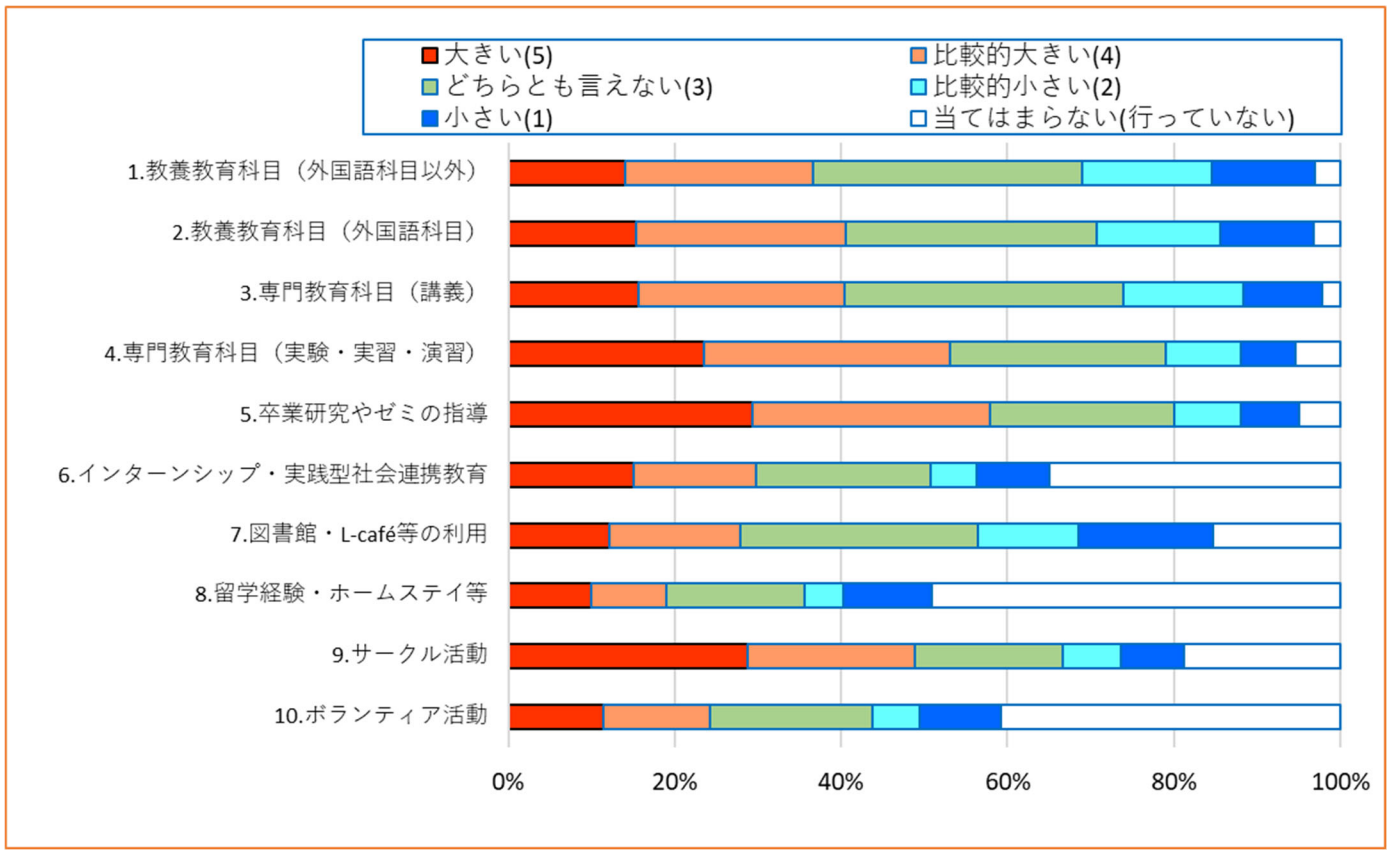
	大きい(5)	比較的大きい(4)	どちらとも言えない(3)	比較的小さい(2)	小さい(1)	当てはまらない(行っていない)	平均
1. 教養教育科目（外国語科目以外）	17.20	30.13	28.61	13.08	8.45	2.53	3.35
2. 教養教育科目（外国語科目）	14.23	23.55	33.31	15.68	10.40	2.82	3.16
3. 専門教育科目（講義）	27.53	35.91	21.97	7.59	5.49	1.52	3.74
4. 専門教育科目（実験・実習・演習）	33.31	31.50	18.42	6.36	5.71	4.70	3.84
5. 卒業研究やゼミの指導	47.62	23.19	12.93	4.91	6.65	4.70	4.05
6. インターンシップ・実践型社会連携教育	13.15	16.04	20.59	6.21	9.18	34.83	3.27
7. 図書館・L-café等の利用	20.66	20.23	24.21	10.04	9.83	15.03	3.38
8. 留学経験・ホームステイ等	8.16	9.83	17.41	5.42	10.77	48.41	2.98
9. サークル活動	17.70	21.17	23.19	9.25	10.12	18.57	3.33
10. ボランティア活動	9.90	11.56	20.23	6.79	10.98	40.53	3.04



⑤「主体的行動力・コミュニケーション能力・リーダーシップ」の獲得への貢献度　　n=1384

「主体的行動力・コミュニケーション能力・リーダーシップ」への貢献度として，「大きい」と「比較的大きい」の合計が 60%以上となった項目は無かったが，「4.専門教育科目(実験・ 実習・演習)」，「5.卒業研究やゼミの指導」が 50%以上であった。ただし，他の設問と比較して，サークル活動の貢献度が非常に大きい回答結果となった。

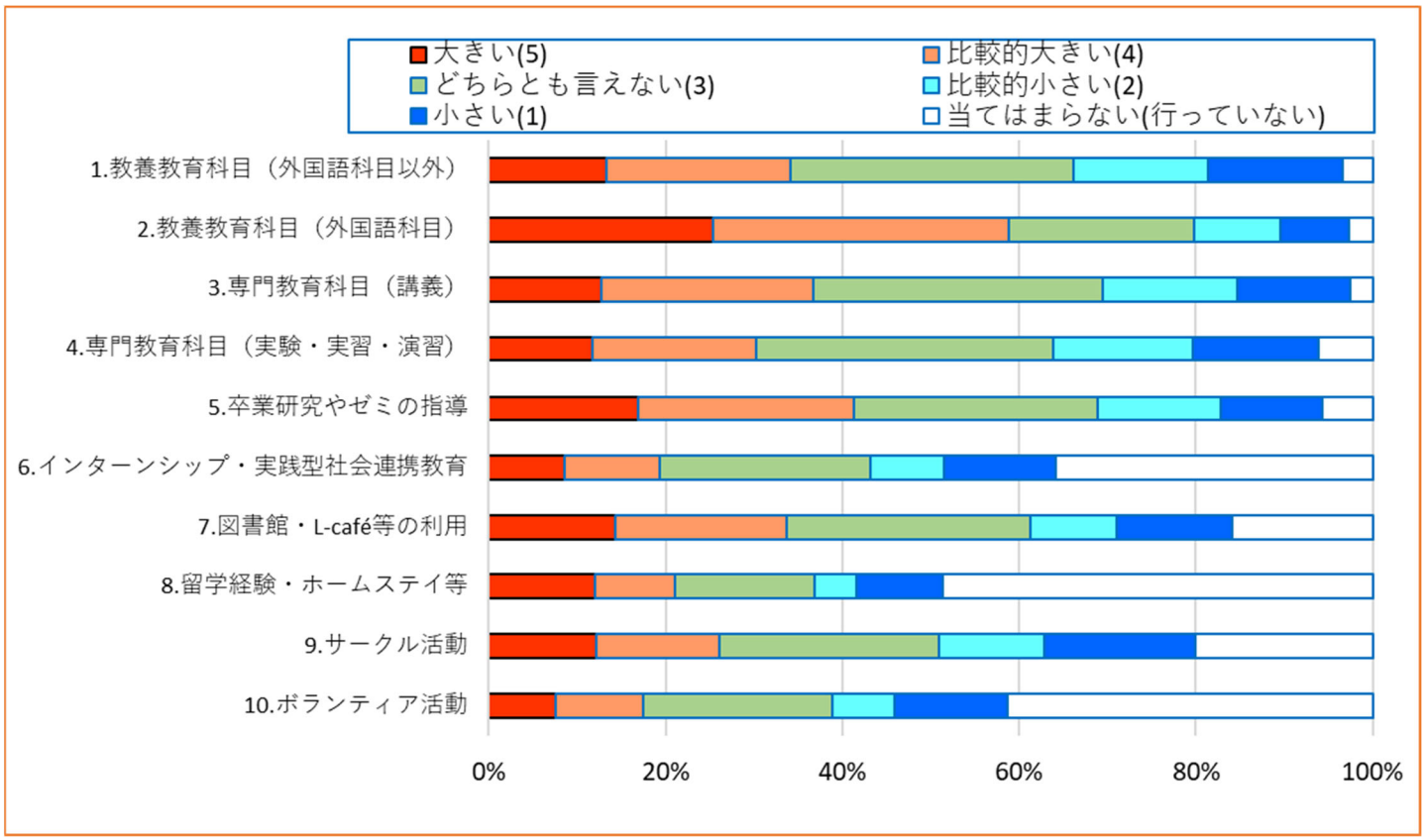
	大きい(5)	比較的大きい(4)	どちらとも言えない(3)	比較的小さい(2)	小さい(1)	当てはまらない(行っていない)	平均
1. 教養教育科目（外国語科目以外）	14.02	22.62	32.30	15.68	12.28	3.11	3.11
2. 教養教育科目（外国語科目）	15.32	25.29	30.13	14.88	11.13	3.25	3.19
3. 専門教育科目（講義）	15.61	24.86	33.45	14.45	9.39	2.24	3.23
4. 専門教育科目（実験・実習・演習）	23.48	29.55	25.94	9.03	6.58	5.42	3.57
5. 卒業研究やゼミの指導	29.41	28.54	22.04	8.09	7.01	4.91	3.69
6. インターンシップ・実践型社会連携教育	15.10	14.74	20.88	5.56	8.74	34.97	3.34
7. 図書館・L-café等の利用	12.14	15.68	28.61	12.07	16.18	15.32	2.95
8. 留学経験・ホームステイ等	9.97	9.03	16.55	4.77	10.62	49.06	3.06
9. サークル活動	28.76	20.16	17.70	6.94	7.59	18.86	3.68
10. ボランティア活動	11.42	12.86	19.44	5.71	9.83	40.75	3.17



⑥国際感覚・外国語能力」の獲得への貢献度　n=1384

「国際感覚・外国語能力」の獲得への貢献度として，「大きい」と「比較的大きい」の合計が 60%以上となった項目は無かったが，「2.教育科目(外国語科目)」のみ 50%以上であった。

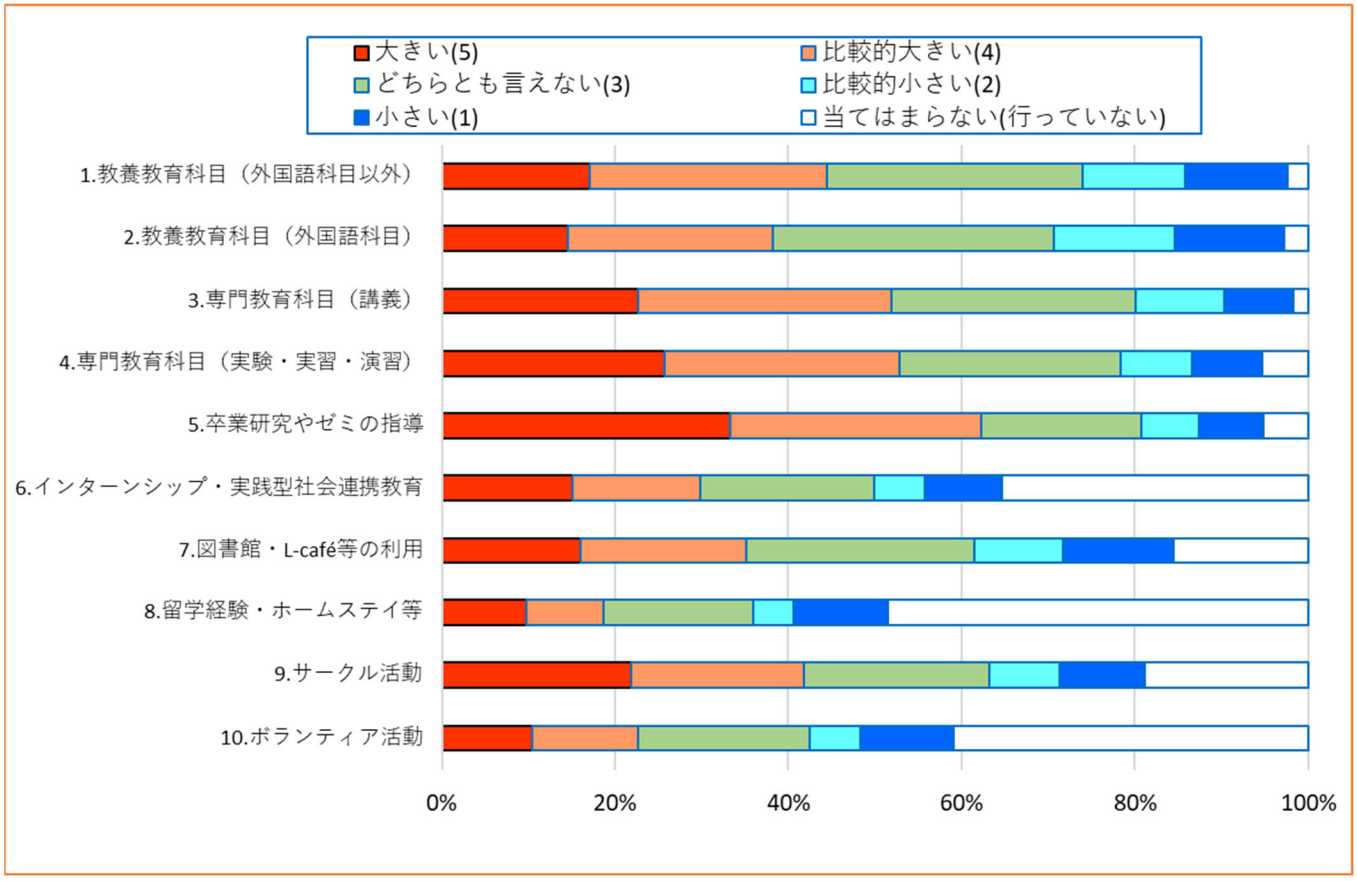
	大きい(5)	比較的大きい(4)	どちらとも言えない(3)	比較的小さい(2)	小さい(1)	当てはまらない(行っていない)	平均
1. 教養教育科目（外国語科目以外）	13.37	20.74	32.08	15.25	15.17	3.40	3.02
2. 教養教育科目（外国語科目）	25.43	33.38	21.03	9.68	7.80	2.67	3.61
3. 専門教育科目（講義）	12.72	24.06	32.66	15.17	12.79	2.60	3.09
4. 専門教育科目（実験・実習・演習）	11.78	18.42	33.60	15.82	14.23	6.14	2.98
5. 卒業研究やゼミの指導	16.84	24.42	27.67	13.87	11.56	5.64	3.22
6. インターンシップ・実践型社会連携教育	8.60	10.77	23.84	8.24	12.64	35.91	2.91
7. 図書館・L-café等の利用	14.31	19.44	27.53	9.75	13.08	15.90	3.14
8. 留学経験・ホームステイ等	11.99	9.03	15.82	4.77	9.68	48.70	3.17
9. サークル活動	12.21	13.87	24.86	11.92	17.12	20.01	2.90
10. ボランティア活動	7.51	9.90	21.39	7.15	12.72	41.33	2.87



⑦「生涯に亘り自己成長を追求する姿勢」の獲得への貢献度　n=1384

「生涯に亘り自己成長を追求する姿勢」への貢献度として，「大きい」と「比較的大きい」の合計が 60%以上となった項目は，「5.卒業研究やゼミの指導」の貢献度であった。

	大きい(5)	比較的大きい(4)	どちらとも言えない(3)	比較的小さい(2)	小さい(1)	当てはまらない(行っていない)	平均
1. 教養教育科目（外国語科目以外）	17.05	27.46	29.48	11.85	11.78	2.38	3.27
2. 教養教育科目（外国語科目）	14.52	23.70	32.44	13.87	12.72	2.75	3.14
3. 専門教育科目（講義）	22.62	29.34	28.18	10.12	8.02	1.73	3.49
4. 専門教育科目（実験・実習・演習）	25.72	27.10	25.58	8.16	8.09	5.35	3.57
5. 卒業研究やゼミの指導	33.31	28.90	18.57	6.65	7.44	5.13	3.78
6. インターンシップ・実践型社会連携教育	15.03	14.74	20.09	5.85	8.89	35.40	3.33
7. 図書館・L-café等の利用	15.97	19.15	26.37	10.26	12.72	15.53	3.18
8. 留学経験・ホームステイ等	9.75	8.96	17.27	4.62	10.91	48.48	3.04
9. サークル活動	21.89	19.94	21.39	8.09	9.75	18.93	3.45
10. ボランティア活動	10.48	12.14	19.87	5.85	10.69	40.97	3.10

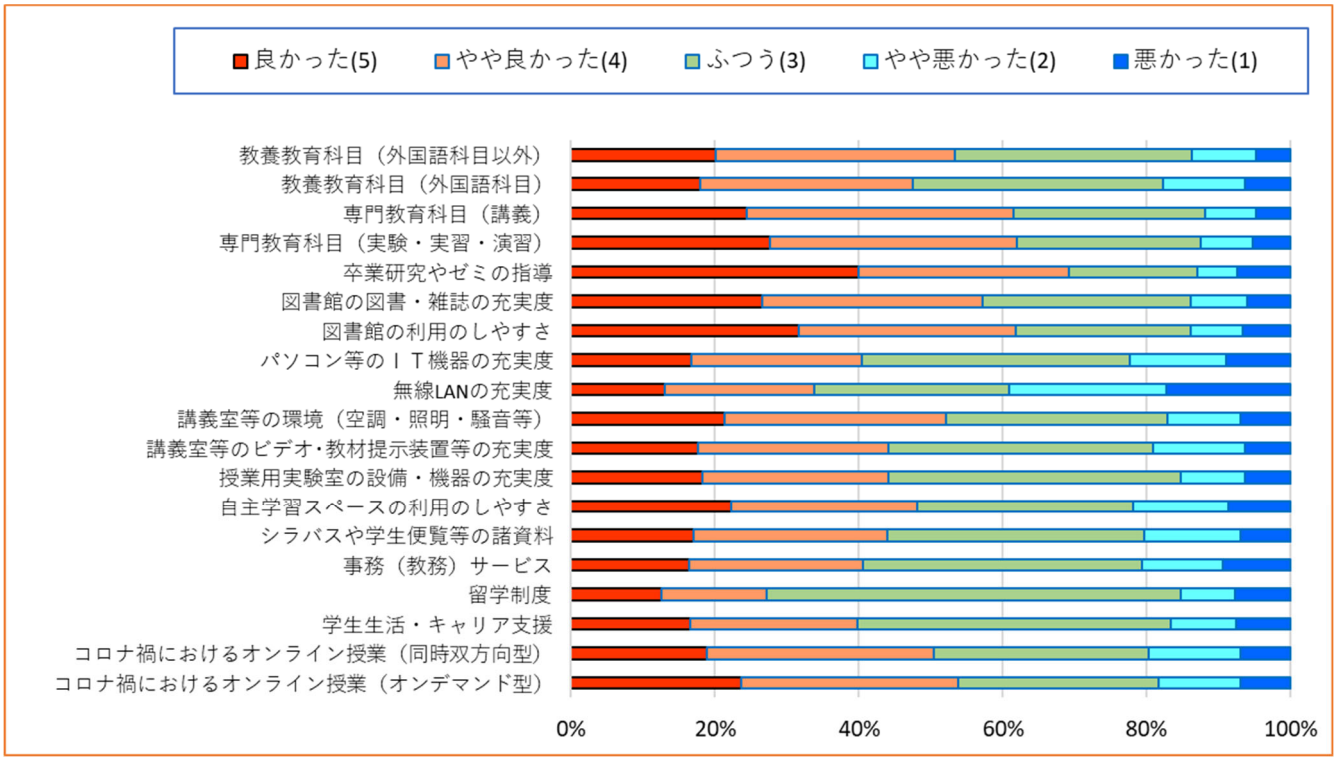


３－４　大学の個々の領域についての満足度　n=1384

卒業研究やゼミ，図書館の利用しやすさ，専門教育科目についての項目は，ほかの項目に比べ満足度が高い。一方，パソコン等の IT 機器の充実度，無線 LAN の充実度，事務（教務）サービス等の学生支援に関する項目の満足度が低い結果となった。

留学制度については非常に満足度が低い結果となっているが，「ふつう」の割合が突出して多く，「やや悪かった」「悪かった」の割合は少なかった。留学制度自体に大きな不満があるのではなく、留学制度に関わることがなかった学生が「ふつう」と回答したためにこのような回答結果となったと予想される。

	良かった(5)	やや良かった(4)	ふつう(3)	やや悪かった(2)	悪かった(1)	平均
1.教養教育科目（外国語科目以外）	20.09	33.16	33.02	8.89	4.84	3.55
2.教養教育科目（外国語科目）	17.99	29.55	34.75	11.42	6.29	3.42
3.専門教育科目（講義）	24.35	37.14	26.66	7.01	4.84	3.69
4.専門教育科目（実験・実習・演習）	27.67	34.25	25.51	7.23	5.35	3.72
5.卒業研究やゼミの指導	39.96	29.26	17.77	5.64	7.37	3.89
6.図書館の図書・雑誌の充実度	26.52	30.71	28.90	7.88	6.00	3.64
7.図書館の利用のしやすさ	31.65	30.13	24.28	7.30	6.65	3.73
8.パソコン等のＩＴ機器の充実度	16.76	23.63	37.28	13.29	9.03	3.26
9.無線LANの充実度	13.01	20.81	27.02	21.89	17.27	2.90
10.講義室等の環境（空調・照明・騒音等）	21.39	30.71	30.71	10.26	6.94	3.49
11.講義室等のビデオ･教材提示装置等の充実度	17.70	26.37	36.78	12.86	6.29	3.36
12.授業用実験室の設備・機器の充実度	18.21	25.94	40.53	9.03	6.29	3.41
13.自主学習スペースの利用のしやすさ	22.25	25.87	29.99	13.22	8.67	3.40
14.シラバスや学生便覧等の諸資料	17.05	26.88	35.77	13.37	6.94	3.34
15.事務（教務）サービス	16.47	24.13	38.66	11.27	9.47	3.27
16.留学制度	12.57	14.67	57.51	7.51	7.73	3.17
17.学生生活・キャリア支援	16.55	23.19	43.64	9.03	7.59	3.32
18.コロナ禍におけるオンライン授業（同時双方向型）	18.79	31.65	29.84	12.72	7.01	3.42
19.コロナ禍におけるオンライン授業（オンデマンド型）	23.70	30.13	27.82	11.42	6.94	3.52



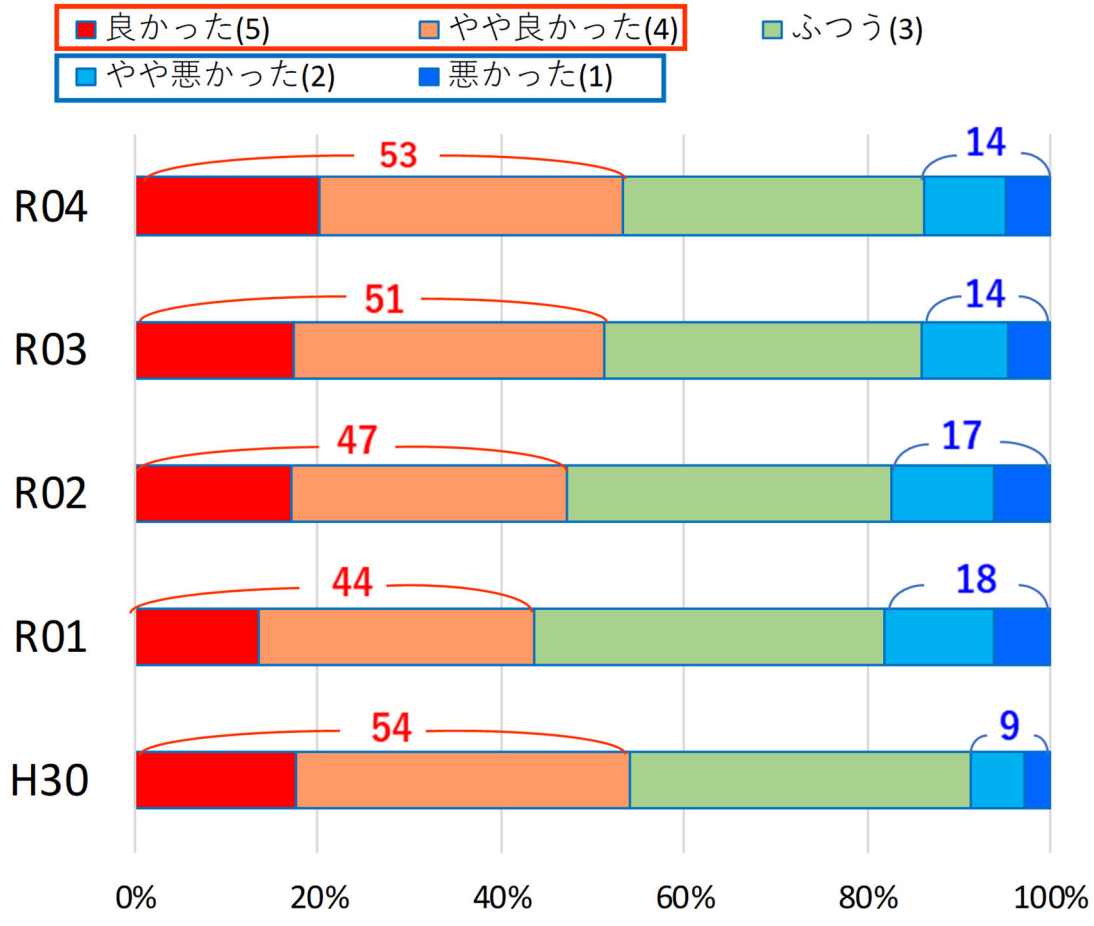
３－５　大学の個々の領域についての満足度－経年比較－

経年変化で見てみるとほとんどの項目についての評価が前年より上昇しているが，コロナ禍以前の H30 年度の満足度にまで戻っていない項目が多い。

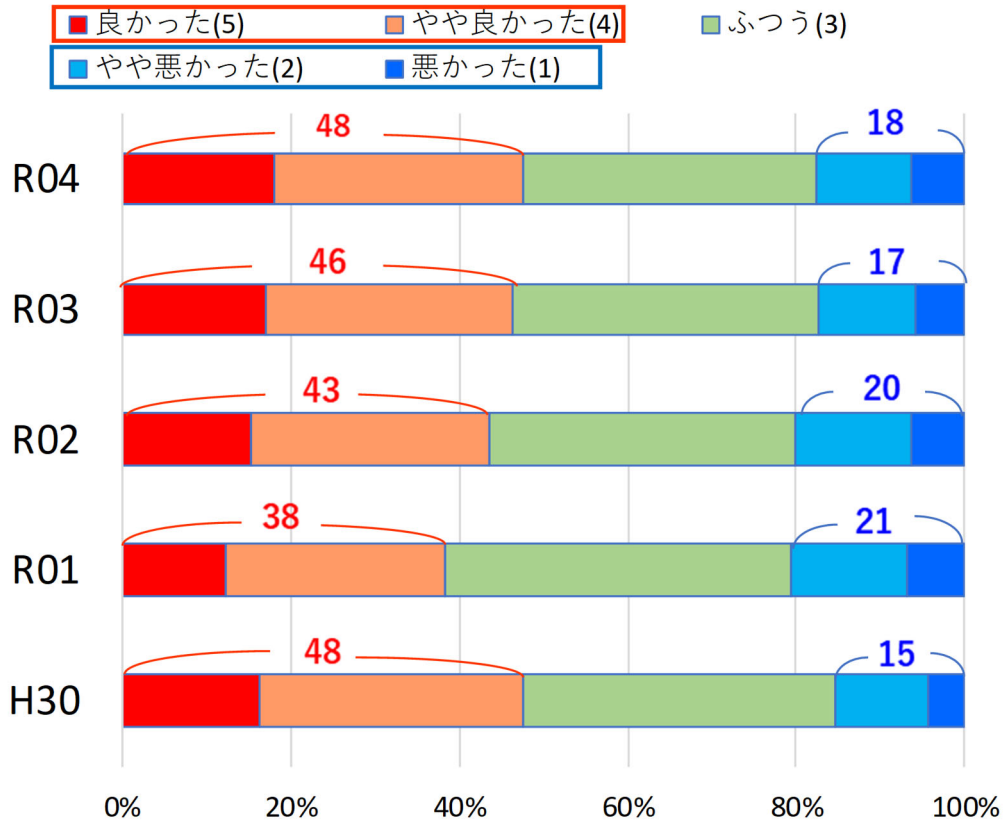
また，本アンケートに回答しているのは令和 4 年度に 4 年次（6 年制については 6 年次）だった学生であることには注意が必要である。

（例：教養教育科目を受講するのは通常 1 、2 年次である場合が多く、令和 4 年度に教養教育科目の内容を刷新していたとしても，アンケートから刷新の影響を読みとることはできない）

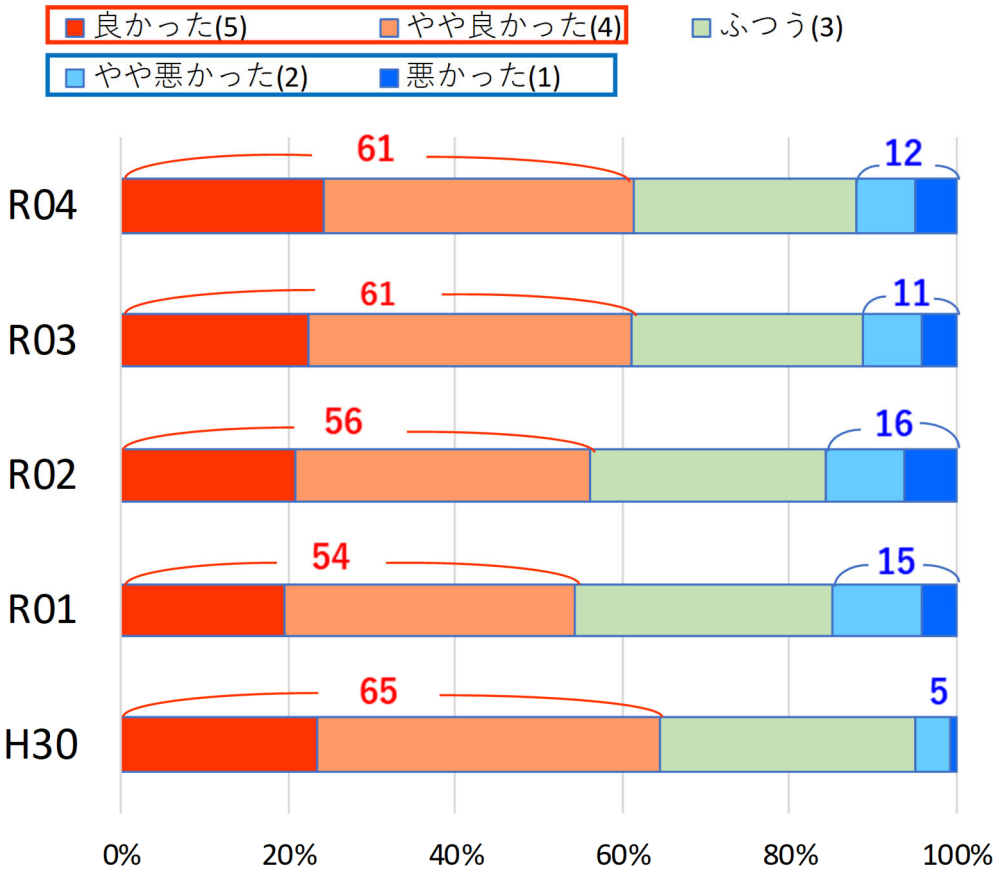
1.教養教育科目（外国語科目以外）



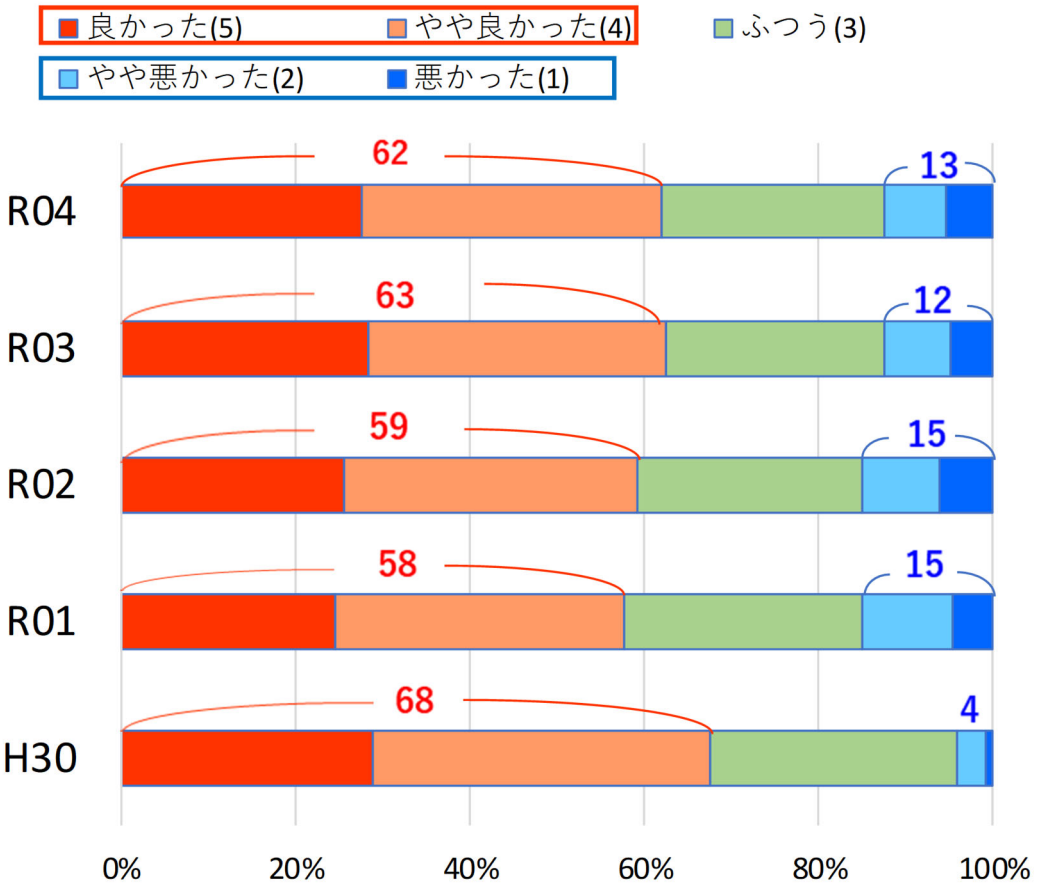
2.教養教育科目（外国語科目）



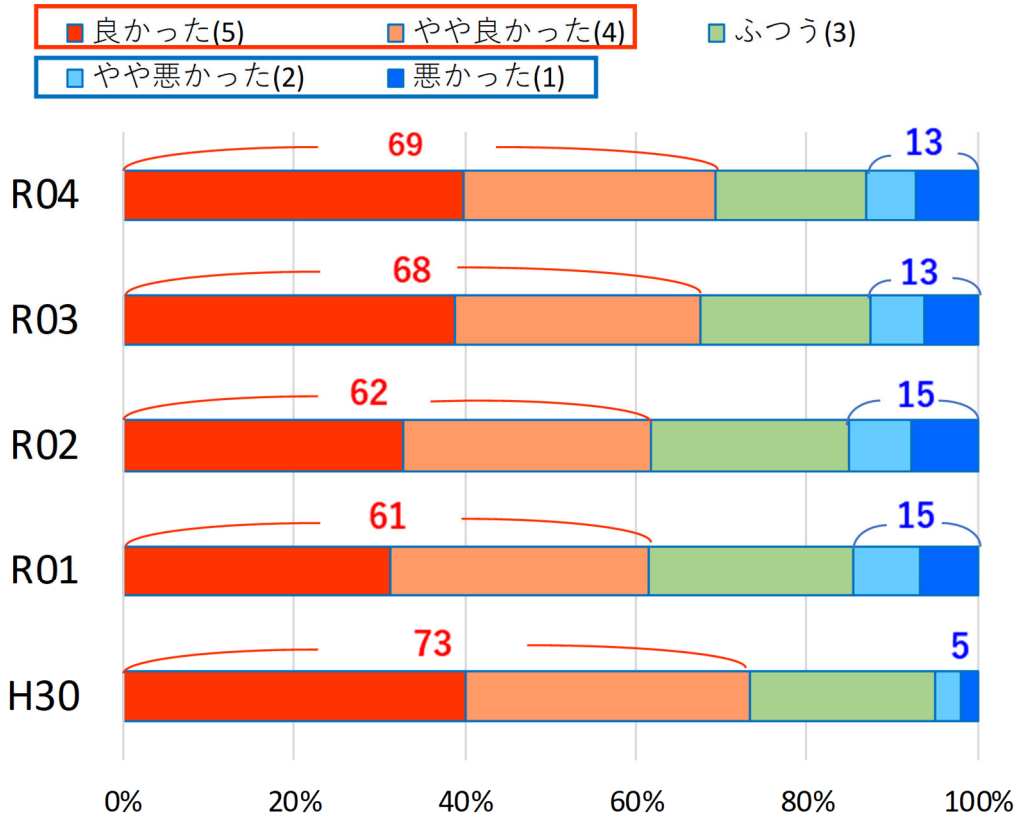
3.専門教育科目（講義）



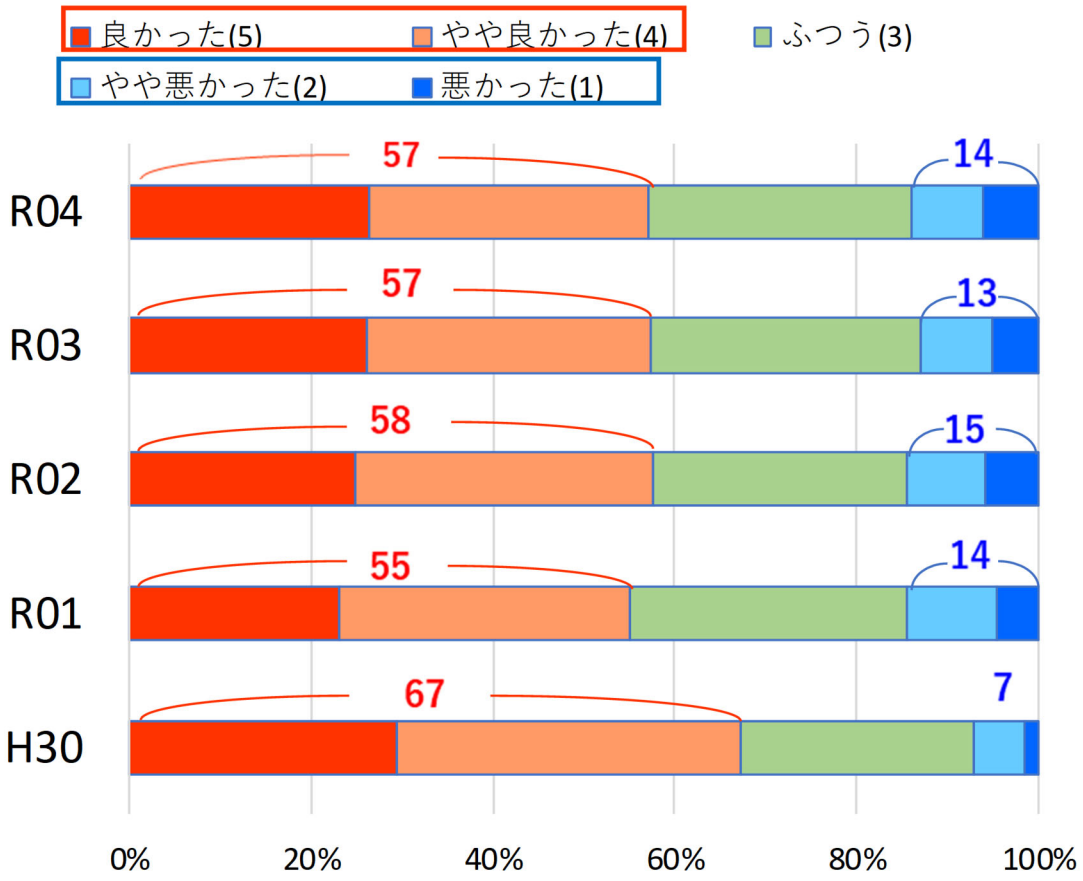
4.専門教育科目（実験・実習・演習）



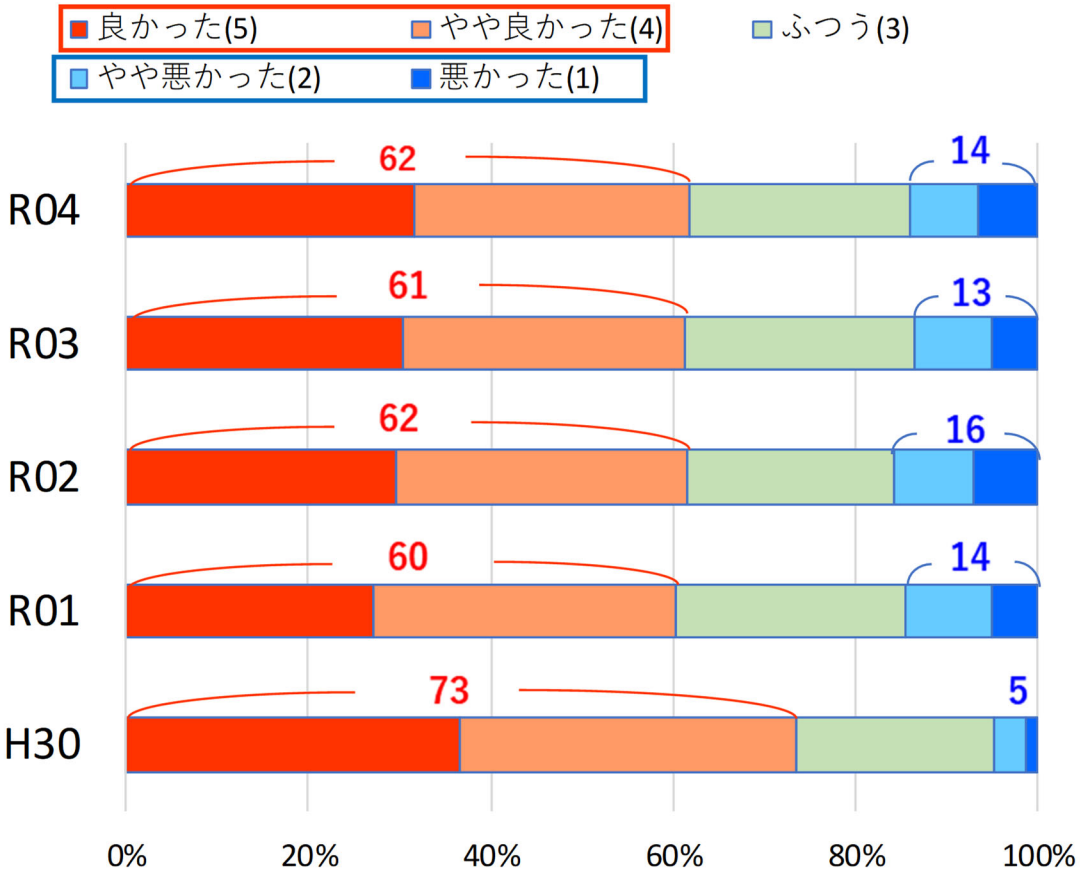
5.卒業研究やゼミの指導



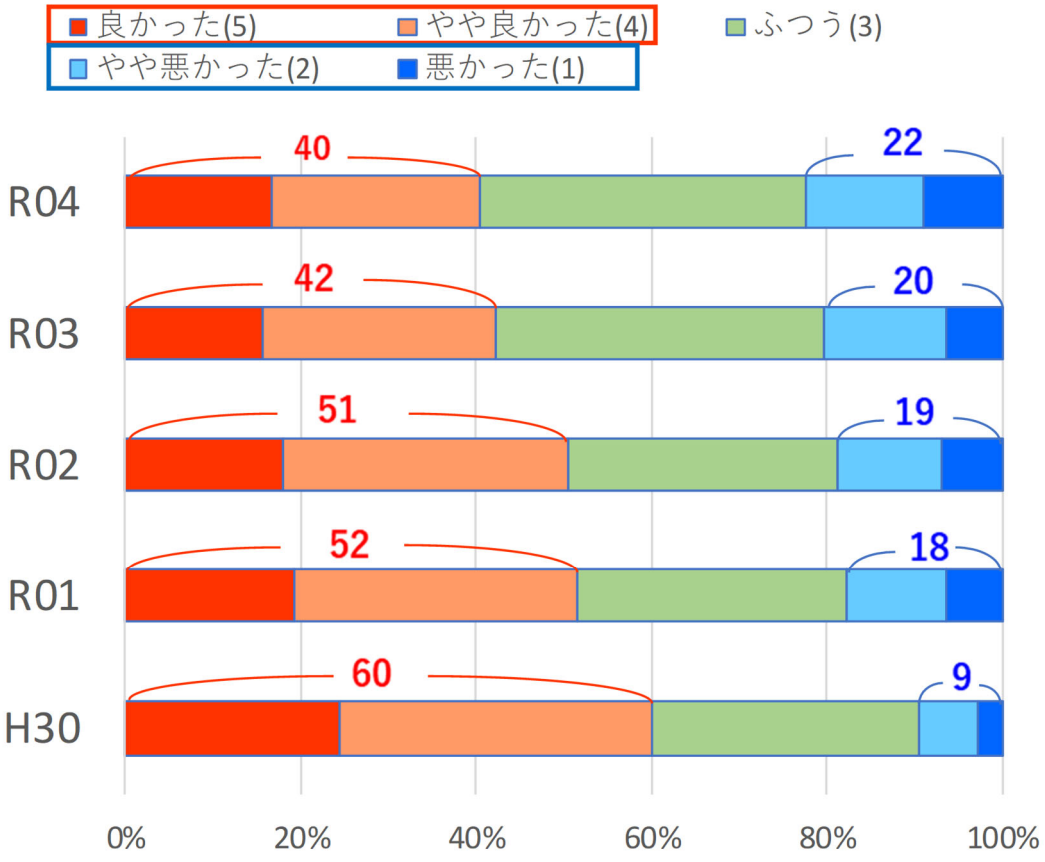
6.図書館の図書・雑誌の充実度



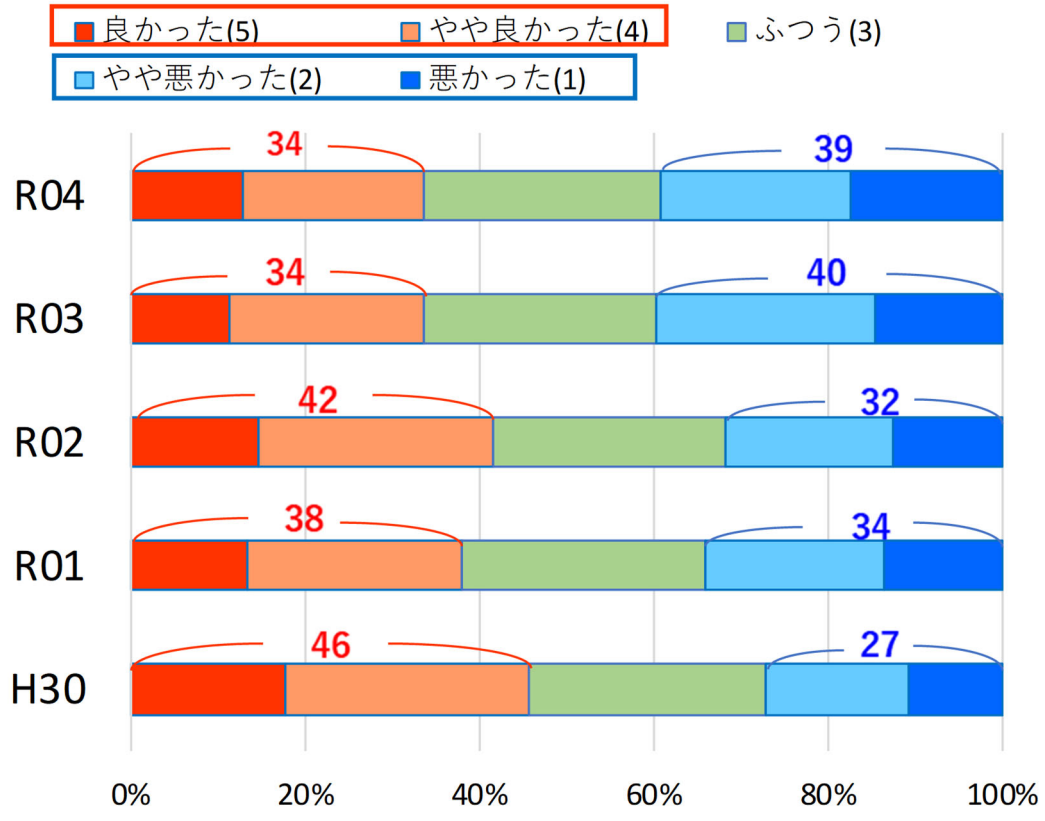
7.図書館の利用のしやすさ



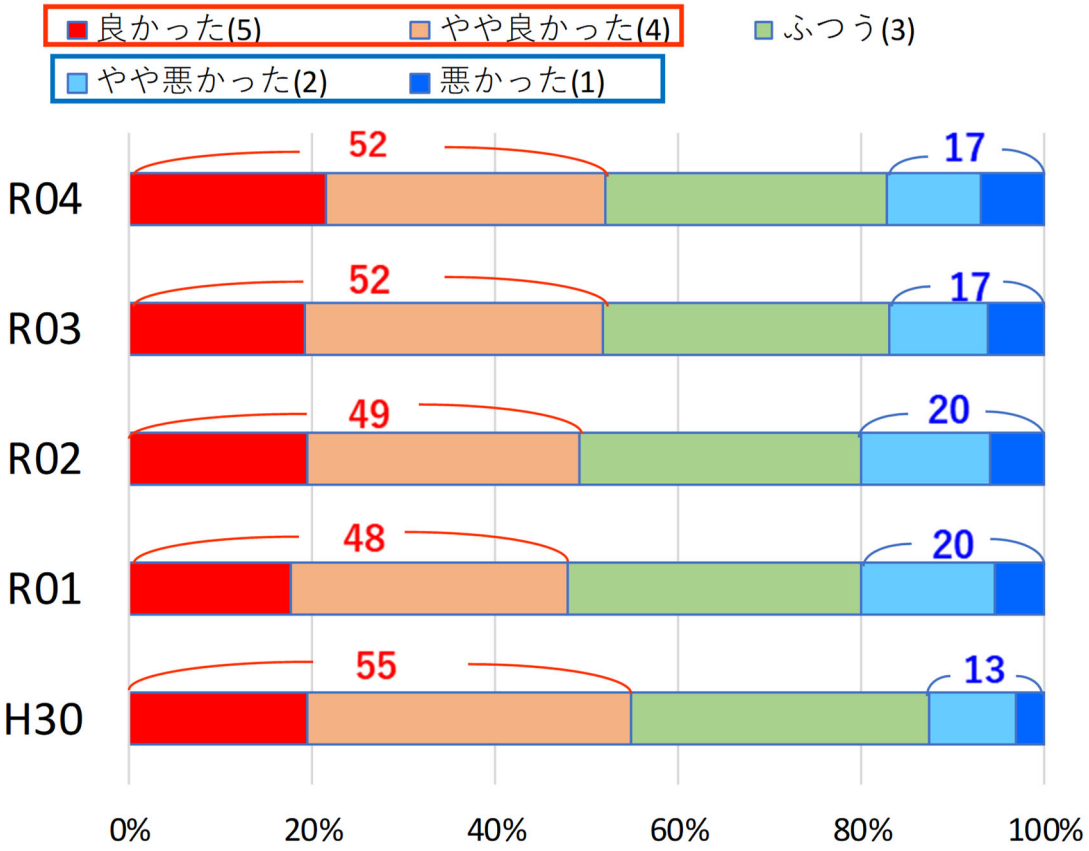
8.パソコン等のＩＴ機器の充実度



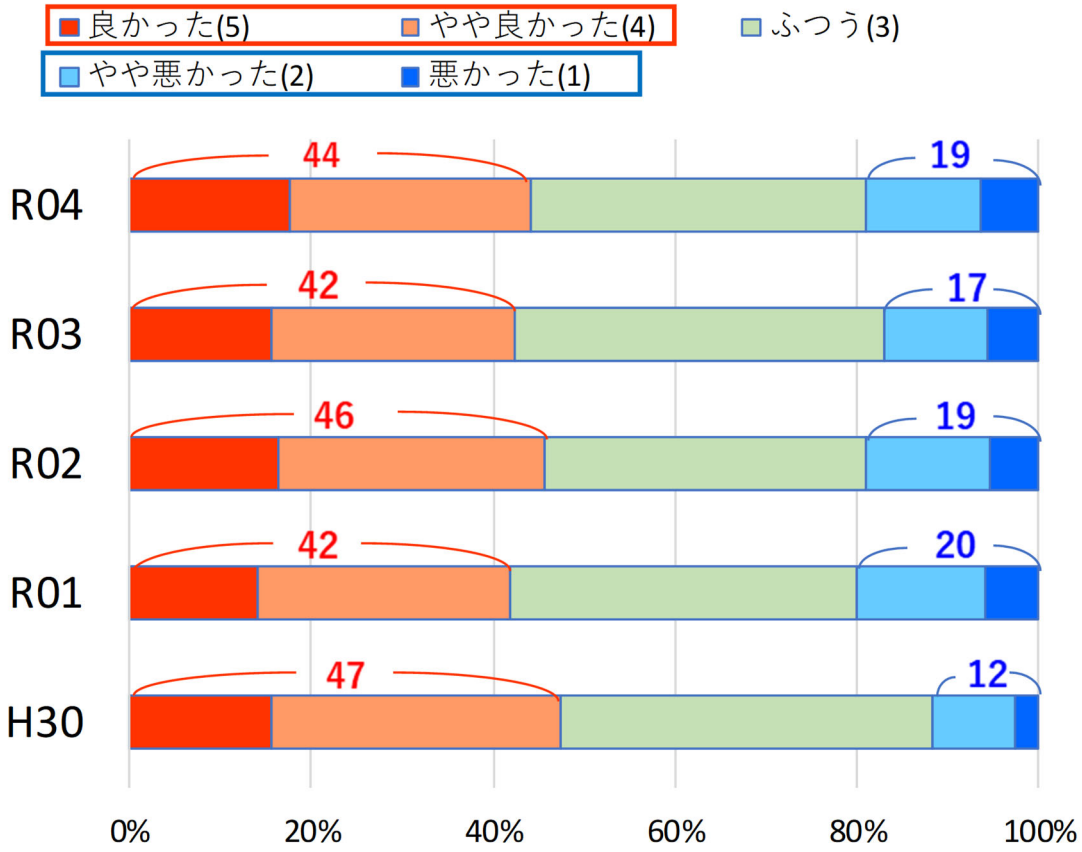
9.無線LANの充実度



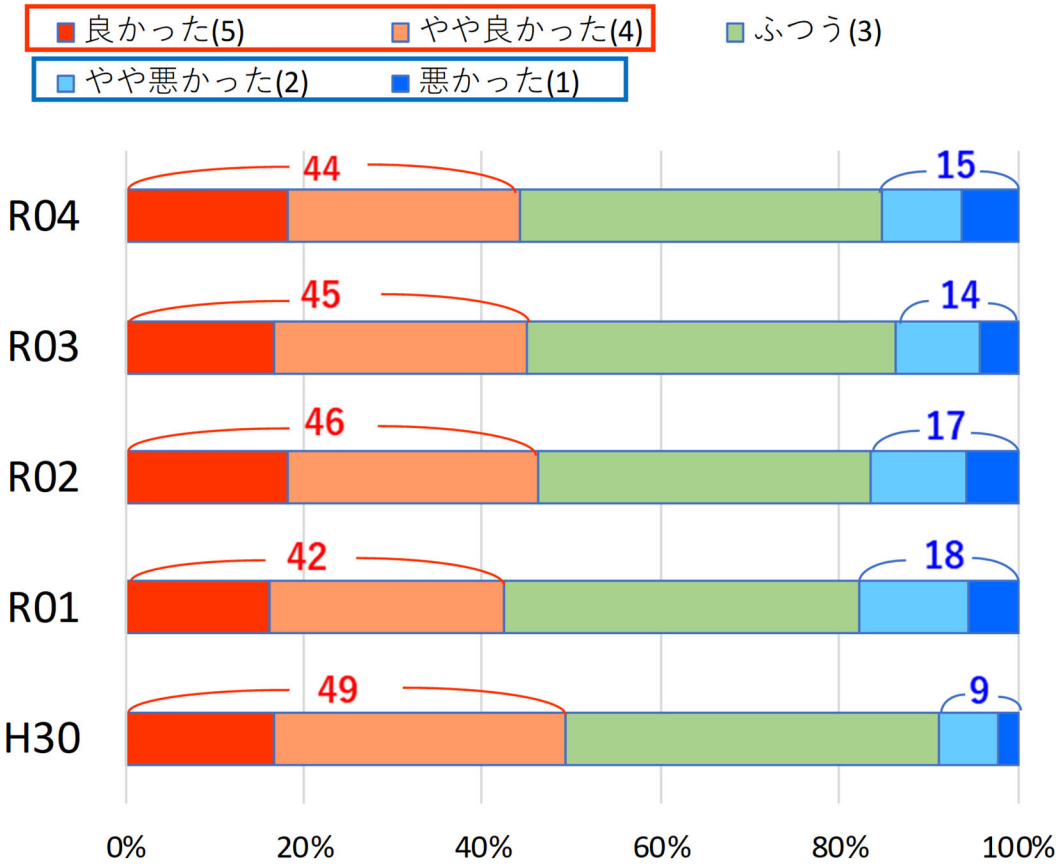
10.講義室等の環境（空調・照明・騒音等）



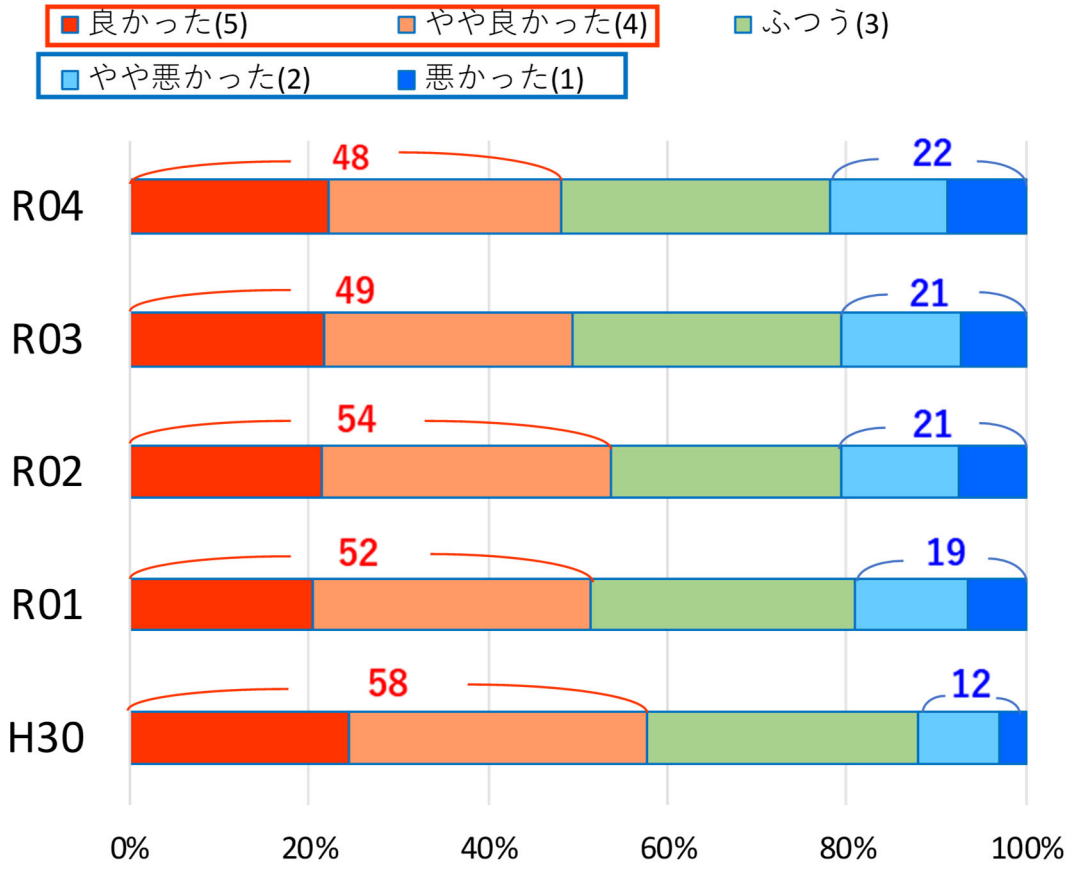
11.講義室等のビデオ･教材提示装置等の充実度



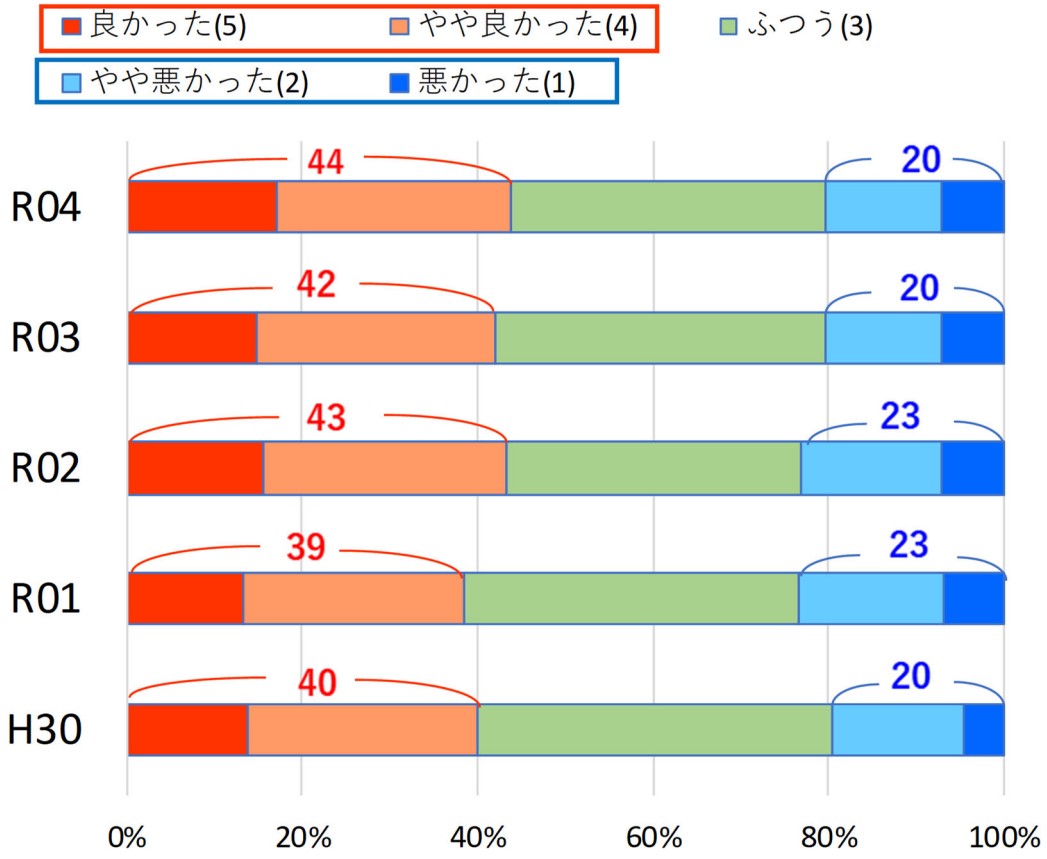
12.授業用実験室の設備・機器の充実度



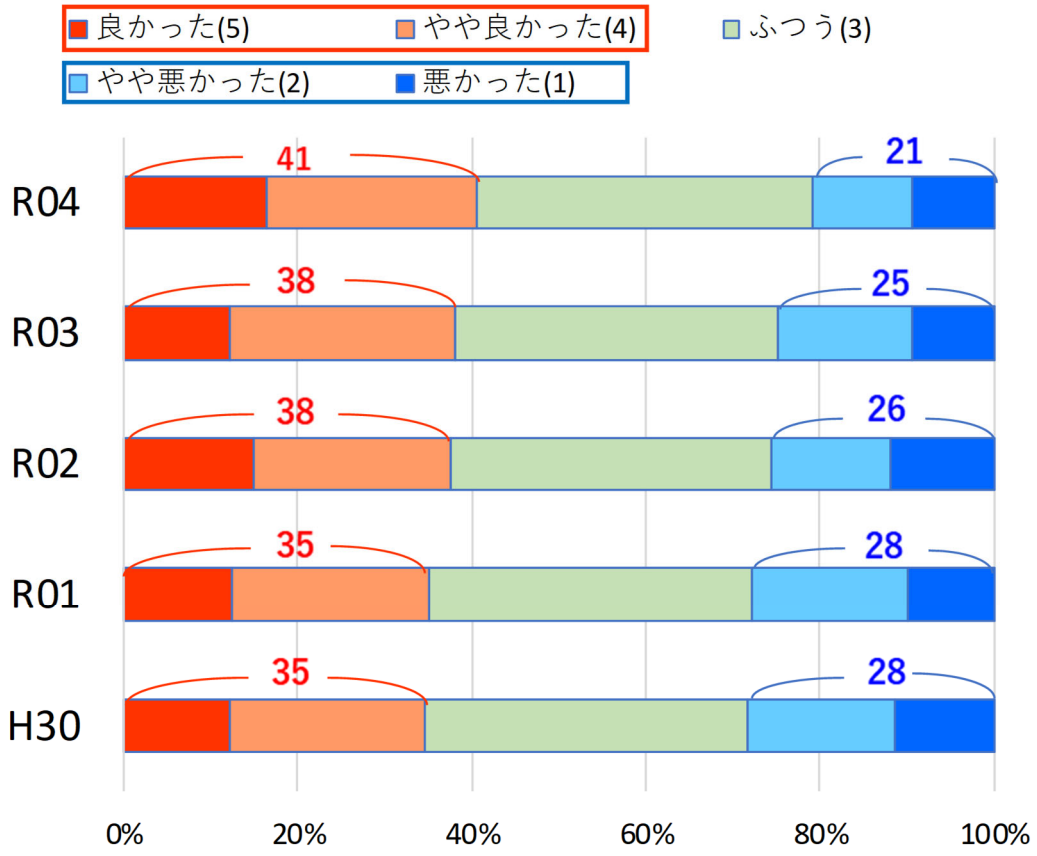
13.自主学習スペースの利用のしやすさ



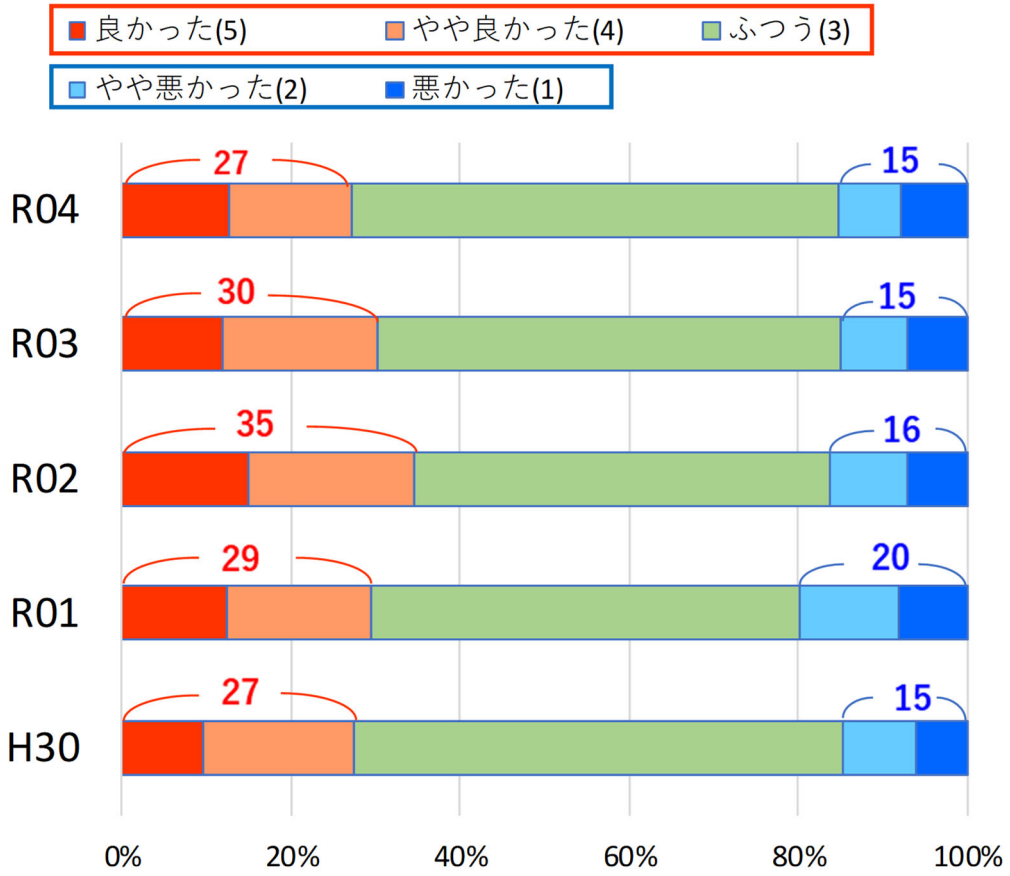
14.シラバスや学生便覧等の諸資料



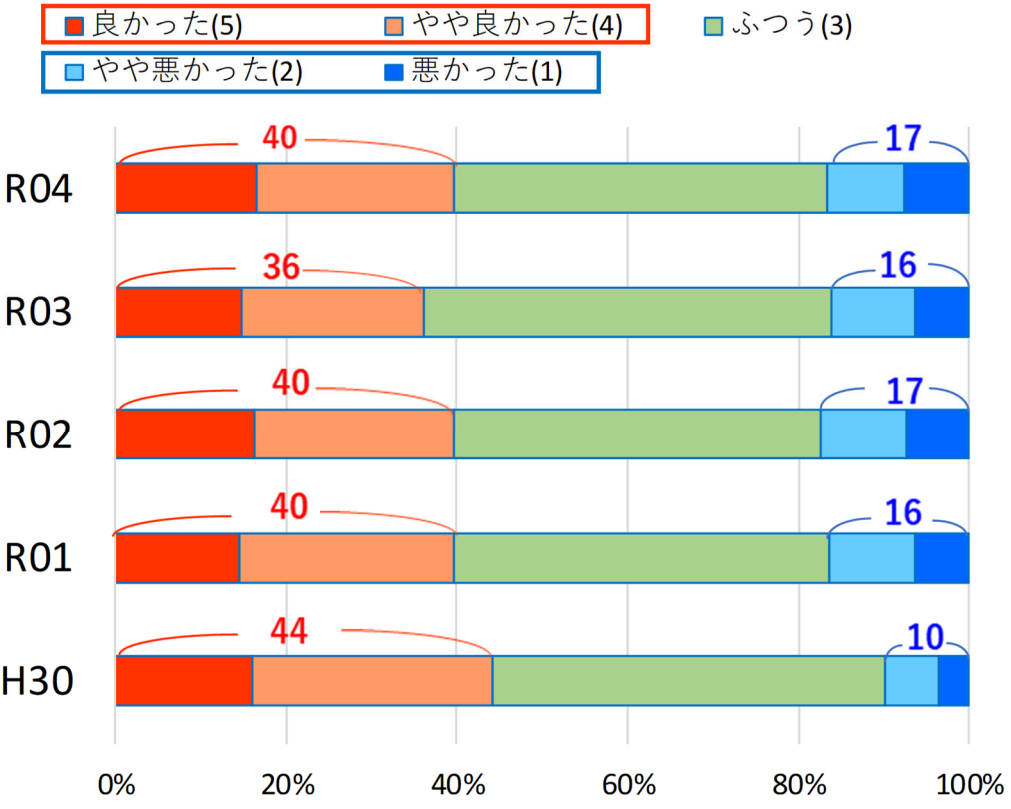
15.事務（教務）サービス



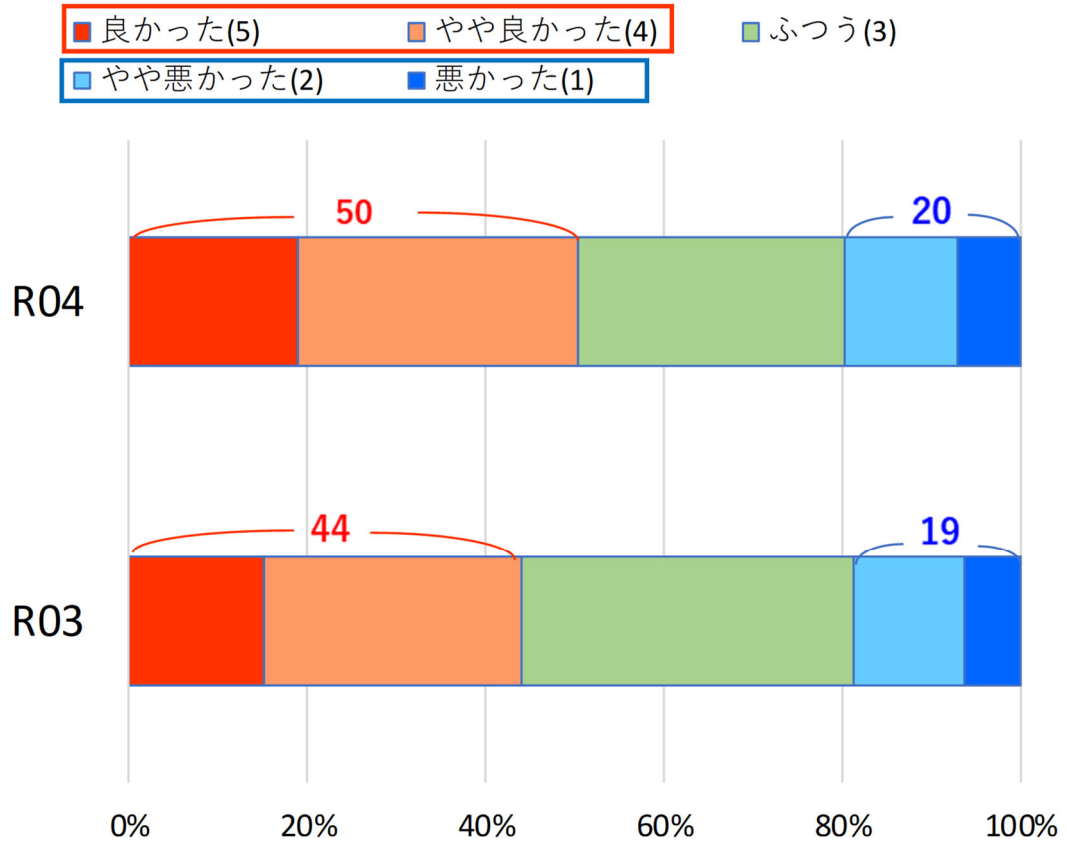
16.留学制度



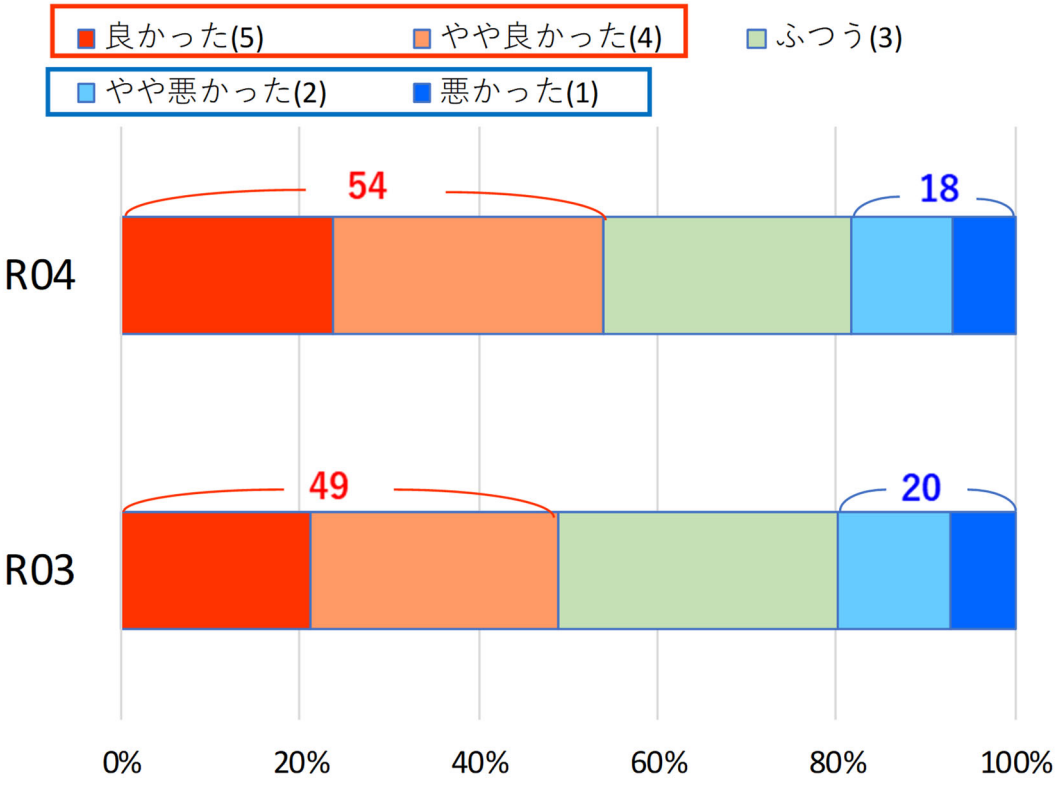
17.学生生活・キャリア支援



18.コロナ禍におけるオンライン授業（同時双方向型）



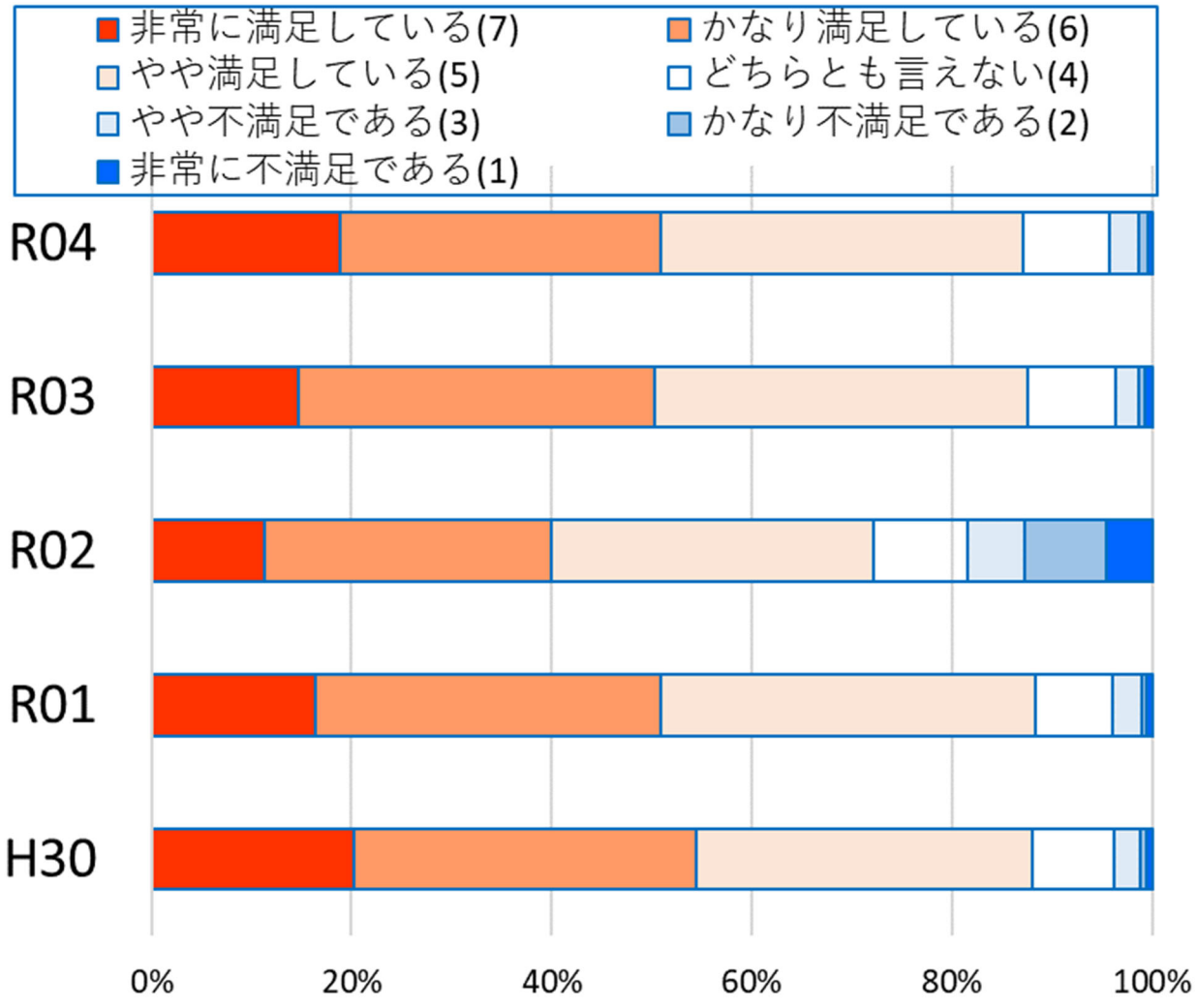
19.コロナ禍におけるオンライン授業（オンデマンド型）



３－６　大学教育全般についての満足度 －経年比較

令和 2 年度にコロナ禍の影響により大きく低下していたが，令和 3 年度及び令和 4 年度は回復傾向にある。令和 4 年度は令和 3 年度よりも満足度が上昇し，コロナ禍前の平成 30 年度に近い状態にまで戻った。

	非常に満足している(7)	かなり満足している(6)	やや満足している(5)	どちらとも言えない(4)	やや不満足である(3)	かなり不満足である(2)	非常に不満足である(1)	平均	標準偏差
R04	18.86	32.08	36.05	8.74	2.82	0.94	0.51	5.51	1.09
R03	14.72	35.62	37.13	8.83	2.26	0.68	0.75	5.47	1.04
R02	11.35	28.57	32.21	9.38	5.74	8.10	4.66	4.88	1.59
R01	16.39	34.45	37.48	7.73	2.94	0.34	0.67	5.50	1.04
H30	20.23	34.19	33.50	8.20	2.63	0.70	0.55	5.57	1.08



４　まとめと提言

平成 20 年度から令和 4 年度までの 14 年間に渡り調査を継続し，今回は，直近の 5 年間（平成 30 年度から令和 4 年度）についてまとめた。令和 2 年の初頭から始まったコロナ禍の影響により大きく下がっていた大学教育全般への満足度についてだが，令和 3 年度及び令和 4 年度と回復傾向が続いている。個々の領域の満足度についても同様の傾向であるが，IT 機器の充実度，無線 LAN の充実度，事務（教務）サービス等の学生支援の項目についての満足度は低い状態が続いており，講義環境や学生生活への支援向上が必要ではないかと考えられる。

教育目標の達成度においては，「グローバル化に対応した国際感覚」「外国語能力」「リーダーシップ」については，昨年度と比較して多少上昇しているものの，全体として見るとこの 5 年間で低いままである。 外国語については，個々の領域の満足度についても，外国語以外の教養科目や専門科目と比較して満足度が低く，対策が必要であると考えられる。

アンケート回収率については，令和 2 年度から令和 3 年度にかけて全体的に回収率が悪化したが，令和 4 年度は多少改善した。今後もさらなる回収率の向上を目指す必要があると考える。

集計・分析：学務部学務企画課